

名張市における
令和4年度全国学力・学習状況調査

結果・分析と今後の取組

令和4年9月
名張市教育委員会

調査開始後14回目（16年目）を迎え、本年4月19日に、市内の小学校第6学年及び中学校第3学年の児童生徒を対象に行われた「全国学力・学習状況調査（以下「全国学調」）」の結果について、本市の児童生徒の学力の定着状況、学習状況、生活習慣等調査の分析結果や今後の取組を以下のとおりまとめました。

本調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる目的で実施するものです。なお、調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面です。これらのことを十分考慮し、今後の名張市の学校教育の一層の充実を図ってまいります。

○調査実施年月日 令和4年4月19日（火）

○調査実施児童生徒数 ※当日実施数

小学校（全6年生14小学校）： 612名

中学校（全3年生 5中学校）： 544名

1 各調査項目の平均正答率等の状況

単位（％）

令和4年度	小学校			中学校		
調査項目	国語	算数	理科	国語	数学	理科
名張市 ※1	65	61	63	68	49	46
全国比 ※2	99.1	96.5	99.5	98.6	95.3	93.3
R3との比較	1.7%	-0.3%	5.0%	2.6%	-0.8%	-9.6%
三重県	65	62	63	68	52	48
全国	65.6	63.2	63.3	69.0	51.4	49.3

名張市 ≥ 全国・三重県

全国 > 名張市 ≥ 三重県
三重県 > 名張市 ≥ 全国

全国・三重県 > 名張市

※1 名張市平均 … 文科省から整数値（小数第一位を四捨五入）により結果提供

※2 全国比 … 全国平均を100としたときの名張市平均の割合（得点率）

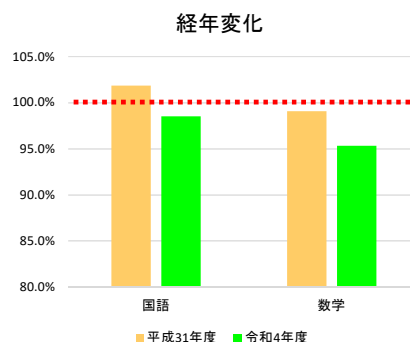
本年度、小学校の国語と理科、中学校の国語において、全国比（全国を100とした場合）で前回調査よりプラスとなり、三重県の平均正答率と同等程度となり、全国の平均正答率にも迫る結果となりました。一方で、小学校の算数、中学校の数学と理科では、全国比で前回調査よりマイナスとなり、全国の平均正答率に迫ることができませんでした。

＜現中学校3年生生徒の小学校6年生時との比較＞

同じ児童生徒に視点を当てた、平成31年度（小学6年生時の結果）と令和4年度（中学校3年生の結果）との経年変化では、名張市における全国比が、3年前より低くなりました。今後、結果を分析し、課題を整理し、課題克服に向け、日々の授業から改善を図り、確かな学力が身につくよう取組を進めてまいります。

単位（％）

本年度 (令和4年度) 中学3年生	調査項目	国語	数学
	名張市平均	68	49
	全国比(%)	98.6	95.3
	3年前との比較	-3.3	-3.8
3年前 (平成31年度) 小学6年生時	全国比(%)	101.9	99.1



＜無解答率の状況＞（経年変化）

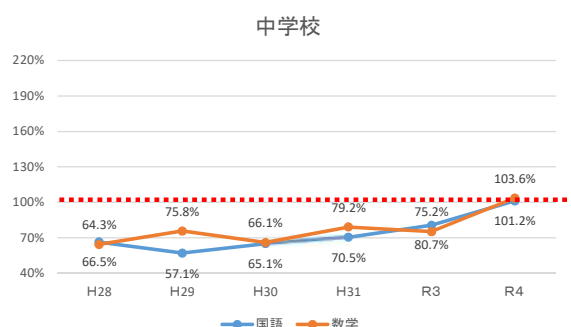
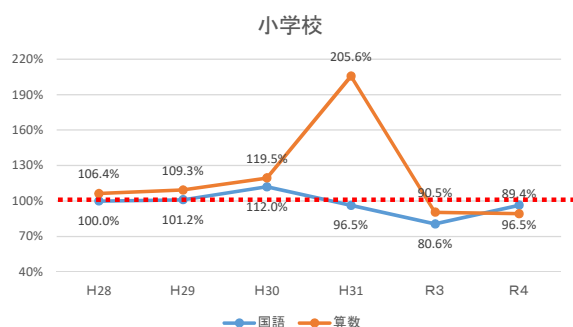
本年度、小学校では、国語、算数で無解答率が全国平均より低くなっています。理科は全国平均より高くなっています。

中学校では、国語、数学、理科で全国平均より高くなっています。

	調査項目	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和3年度		令和4年度		調査項目
		名張市	全国	名張市	全国	名張市	全国	名張市	全国	名張市	全国	名張市	全国	
小学校	国語	4.62	4.62	4.36	4.31	4.21	3.76	5.99	6.21	3.5	4.34	5.5	5.7	国語
	算数	7.84	7.37	7.02	6.42	9.48	7.93	5.47	2.66	2.39	2.64	3.12	3.49	算数
	理科	—	—	—	—	1.46	1.21	—	—	—	—	3.62	3.58	理科
中学校	国語	2.92	4.39	2.17	3.8	1.96	3.01	1.86	2.64	3.52	4.36	4.31	4.26	国語
	数学	9.45	14.69	8.88	11.71	8.33	12.61	5.79	7.31	8.39	11.15	11.14	10.75	数学
	理科	—	—	—	—	3.36	5.04	—	—	—	—	4.03	3.44	理科

無解答率が全国と同じか低い

無解答率が全国より高い

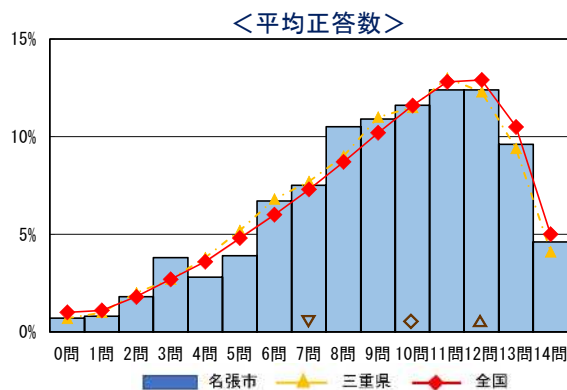


※全国比で表示(全国平均を100としたときの名張市平均の割合)

2 各調査項目の結果概要

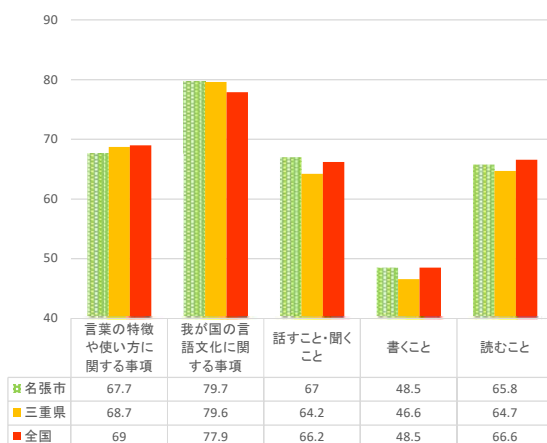
平均正答率…全国より良い傾向を(+)、そうでない傾向を(-)
無解答率…全国より良い傾向を(-)、そうでない傾向を(+)で表しています

小学校		国語	
	名張市	全国	差
平均正答率	65	65.6	-0.6
無解答率	5.5	5.7	-0.2

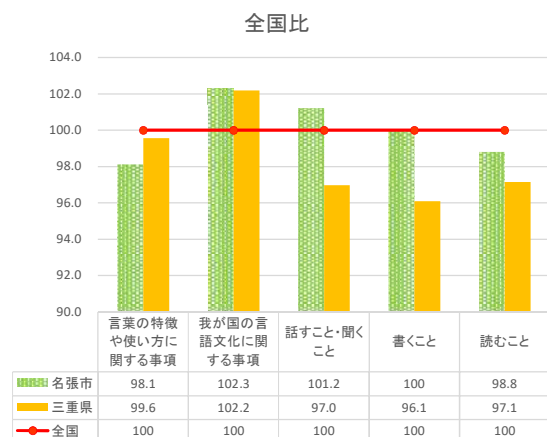


	名張市	三重県	全国
△ 第3四分位	12.0問	12.0問	12.0問
◇ 第2四分位	10.0問	10.0問	10.0問
▽ 第1四分位	7.0問	7.0問	7.0問

＜領域別／平均正答率＞



★領域別で見ると、名張市では「我が国の言語文化に関する事項」が高く、次いで「言葉の特徴や使い方にに関する事項」、「話すこと・聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」の順に低くなっている。



＜正答率が高かった問題の概要＞

1 一 【話し合いの様子の一部】における谷原さんの発言の理由として適切なものを選択する。
85.8% [選択式]

1 三 【話し合いの様子の一部】で、中村さんが前田さんに質問し、知りたかったことの説明として適切なものを選択する。
83.7% [選択式]

3 四 (一) から (二) に書き直した際、気を付けた内容として適切なものを選択する。
79.7% [選択式]

＜正答率が低かった問題の概要＞

3 二 【伝え合いの様子の一部】を基に、【文章2】のよさを書く。

＜問題の趣旨＞
文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができるかどうかをみる。

37.6% [記述式]

1 四 「ごみ拾い」か「花植え」かのどちらかを選んで、() でどのように話すかを書く。

＜問題の趣旨＞
互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。

50.3% [記述式]

＜無解答率が高かった問題の概要＞

3 三ウ【文章2】の中の____部ウを、漢字を使って書き直す。(したしむ)

12.1% [短答式]

＜学習指導に当たって＞

○ 伝え合う経験を積み重ねていくことで、自分の文章のよいところを見付けたり、それを言葉で表したりする指導が大切である。本設問のように、自分が書いた目的や意図を相手に伝えたり、感想や意見を具体的に伝え合ったりすることができるように指導すると効果的である。さらに、互いの文章を読み合うことで、経験の取り上げ方や言葉の選び方、書き方の工夫を認め合い、自分の表現に生かそうとすることも大切である。(3 二)

○ 話し合いを始める際に話し合いの目的や方向性を検討すること、話し合いの展開や内容を踏まえて互いの意見を整理すること、様々な視点から検討して自分の考えをまとめることなどが重要である。(1 四)

○ 文や文章の中で使おうとする習慣を身に付けるようにするとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うように指導することが重要である。(3 三ウ)

令和4年度全国学力・学習状況調査「報告書」より

国語 ③ 経験を基に考えたことを書く(六年生としてがんばりたいこと)

二 島谷さんは、川口さんと「文章2」を読み合い、感想を伝え合いました。次の「伝え合いの様子の一部」をよく読み、あとの問いに答えましょう。

【文章2】

わたしがこの一年間でがんばりたいことは、運動委員としてみんなのことを考えた新たな活動を進めることです。

そう考えたのは、五年生の時、美化委員長の南さんが卒業する前に話してくれた、活動への思いがすばらしいと思ったからです。南さんは、みんなにそうじ用具の正しい使い方を知ってほしいという思いをもち、正しく使うことができている学級の様子をアロクがして、各学級にしようかいしたそうです。

この話を聞き、五年生の時にさばい委員会では自分が行った活動をふり返りました。そして、当番の日に水やりをするだけで、南さんのように、みんなのために新たな活動を提案できなかったことを、いばんせいました。

わたしは今年、運動委員になりました。運動が苦手な人も、うしじじいことができるように、ルールや道具をくふうした、おに遊びやボールゲームを各学級にしようかいしたいです。

【伝え合いの様子の一部】

島谷さん 私のがんばろうとしていることが伝わるかな。

川口さん 伝わってきたよ。それは、上級生が話してくれたことや、委員会活動したことをもとにしているからだね。

島谷さん それはよかった。他に気づいたことはあるかな。

川口さん 最後の段落がいいね。なぜかという点、最初の段落の内容をより具体的に書いているから、今年ががんばろうとしていることがくわしく伝わってきたよ。

島谷さん ありがとう。自分でもふり返ってみるね。次は、川口さんの文章を読んだ感想を伝えるね。

う (伝え合いが続く)

(問い) 島谷さんは、川口さんと伝え合ったことをもとに、自分の文章のよさをふり返り、書くことにしました。あなたが島谷さんなら、どのようなよさを書きますか。次の条件に合わせ、書きましょう。

(条件)

- 「文章2」のよさを書くこと。
- 「文章2」から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 六十文字以上、百文字以内にまとめて書くこと。

※ 左の縦線は下書き用紙の、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。※ の印から書きましょう。どちらの行で書くか決めて、続けて書きましょう。

問題の趣旨

文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができるかどうかをみる。

正答率 37.6%
無解答率 18.6%



学習指導に当たって

「文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける。」

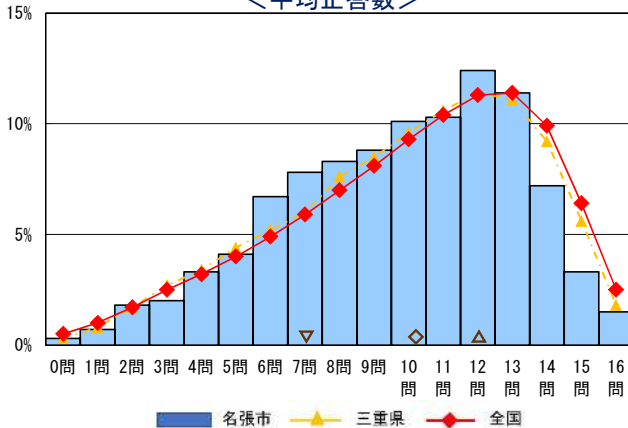
「共有」に関する指導事項の定着を図るためには、互いの文章に対する感想や意見を伝え合うことを通して、自分の文章のよいところを見付けることができるように指導することが重要である。自分の文章のよいところとは、第1学年及び第2学年では、「内容や記述などに見られる具体的なよさ」、第3学年及び第4学年では、「書こうとしたことの明確さ」、第5学年及び第6学年では、「文章全体の構成や展開の明確さ」などである。

学習指導に当たっては、伝え合う経験を積み重ねていくことで、自分の文章のよいところを見付けたり、それを言葉で表したりする指導が大切である。本設問のように、自分が書いた目的や意図を相手に伝えたり、感想や意見を具体的に伝え合ったりすることができるように指導すると効果的である。

さらに、互いの文章を読み合うことで、経験の取り上げ方や言葉の選び方、書き方の工夫を認め合い、自分の表現に生かそうとすることも大切である。自分の文章のよいところを見付ける経験を重ねることが望まれる。

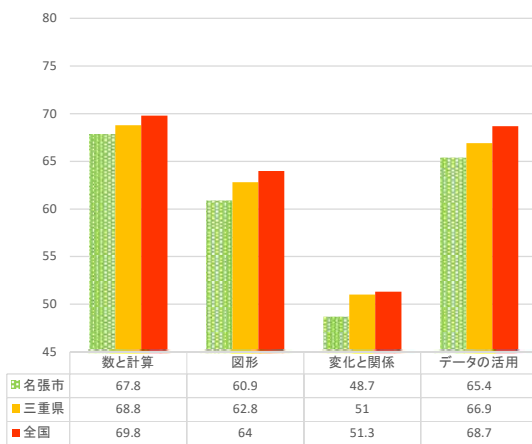
小学校		算数		
	名張市	全国	差	
平均正答率	61	63.2	-2.2	
無解答率	3.12	3.49	-0.37	

＜平均正答数＞



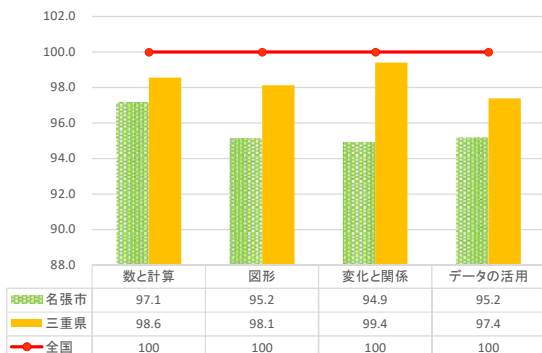
	名張市	三重県	全国
△ 第3四分位	12.0問	13.0問	13.0問
◇ 第2四分位	10.0問	10.0問	11.0問
▽ 第1四分位	7.0問	8.0問	8.0問

＜領域別／平均正答率＞



★領域別で見ると、名張市では「数と計算」が高く、次いで、「データの活用」、「図形」、「変化と関係」の順に低くなっている。

全国比



＜正答率が高かった問題の概要＞

1 (1) 1050×4 を計算する。93.5% [短答式]

4 (2) 長方形のプログラムについて、向かい合う辺の長さを書く。82.4% [短答式]

＜正答率が低かった問題の概要＞

2 (3) 果汁が含まれている飲み物の量を半分にしたときの、果汁の割合について正しいものを選ぶ。

＜問題の趣旨＞
数量が変わっても割合は変わらないことを理解しているかどうかをみる。15.5% [選択式]

1 (4) 85×21 の答えが1470より必ず大きくなることを判断するための数の処理の仕方を選ぶ。

＜問題の趣旨＞
目的に合った数の処理の仕方を考察できるかどうかをみる。31.4% [選択式]

4 (1) 示されたプログラムについて、正三角形をかくことができる正しいプログラムに書き直す。

＜問題の趣旨＞
正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述できるかどうかをみる。40.2% [記述式]

＜無解答率が高かった問題の概要＞

3 (4) 1年生の希望をよりかなえるためのポイント数の求め方と答えを書く。9.0% [記述式]

＜学習指導に当たって＞

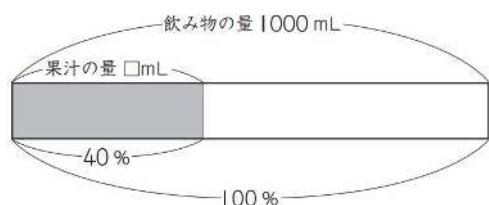
○ 本設問を用いて、果汁が含まれた飲み物を二つに等しく分けても、果汁の濃さは変わらないという生活経験を想起しながら、果汁の割合は変化しないと判断する活動が考えられる。その際、生活経験を基にした判断と、果汁の割合を計算で求めた結果を関連付けて考えることができるようにすることが大切である。(2(3))

○ 数の大きさを見積もる必要があるときは、目的に応じて大きく見たり小さく見たりして、概算できるようにすることが重要である。その際、概数にする方法である切り上げ、切り捨て、四捨五入を用いて計算し、どの方法が適切であるかを判断できるようにすることが大切である。(1(4))

○ 問題場面の数量の關係に着目し、数量の關係を簡潔に式で表すとともに、式を読み取ったり、正しく計算したりすることができるようにすることが重要である。(3(4))

算数 ② 二つの数量の関係について考察すること(果汁の割合)

- (2) オレンジの果汁が40%ふくまれている飲み物があります。
この飲み物1000 mLには、果汁が何 mL入っていますか。
答えを書きましょう。



問題の趣旨

百分率で表された割合と基準量から、比較量を求めることができるかどうかをみる。

正答率 59.3%
無解答率 2.9%

- (3) りんごの果汁が20%ふくまれている飲み物が500 mLあります。
この飲み物を2人で等しく分けると、1人分は250 mLになります。



果汁 20%



250 mL 250 mL

250 mLの飲み物にふくまれている果汁の割合について、次のようにまとめます。

250 mLは、500 mLの $\frac{1}{2}$ の量です。

このとき、ア

上のアにあてはまる文を、下の1から3までのの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合も $\frac{1}{2}$ になります。
- 2 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合は2倍になる。
- 3 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になっても、果汁の割合は変わりません。

問題の趣旨

示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解しているかどうかをみる。

正答率 15.5%
無解答率 0.7%

学習指導に当たって

(2) について、「割合と基準量から、比較量を求めることができるようにする。」

問題場面から、基準量、比較量、割合の関係を捉えることができるようにすることが重要である。

指導に当たっては、例えば、本設問を用いて、飲み物の量と果汁の割合から、果汁の量を求める活動が考えられる。その際、(基準量) × (割合) = (比較量) などの言葉の式だけでなく、自分にとって分かりやすい図をかいて数量の関係を捉え、その数量の関係から比較量を求める式を立てることができるようになることが大切である。

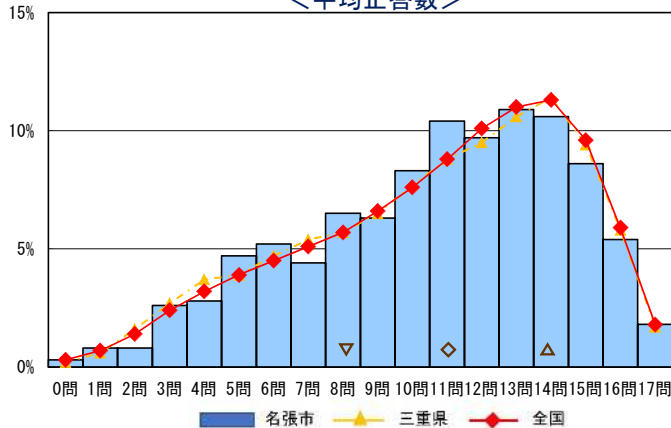
(3) について、「日常の具体的な場面に対応させながら、割合について理解できるようにする。」

日常の具体的な場面に対応させながら、飲み物の量に対する果汁の量の割合が、飲み物の濃さを表していることを理解できるようにすることが重要である。その際、飲み物を分けても、飲み物の濃さは変わらないという生活経験を想起できるようにすることが大切である。

指導に当たっては、例えば、本設問を用いて、果汁が含まれている飲み物を二つに等しく分けても、飲み物の濃さは変わらないという生活経験を想起しながら、飲み物の量に対する果汁の量の割合は変わらないと判断する活動が考えられる。その際、生活経験を基にした判断と、飲み物の量に対する果汁の量の割合を計算で求めた結果を関連付けて考えることができるようにすることが大切である。

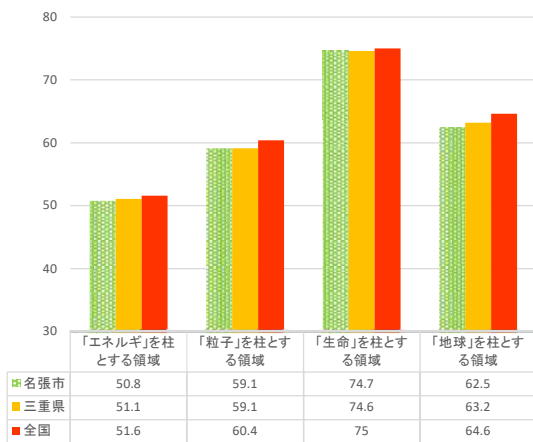
小学校	理科		
	名張市	全国	差
平均正答率	63	63.3	-0.3
無解答率	3.62	3.58	0.04

<平均正答数>



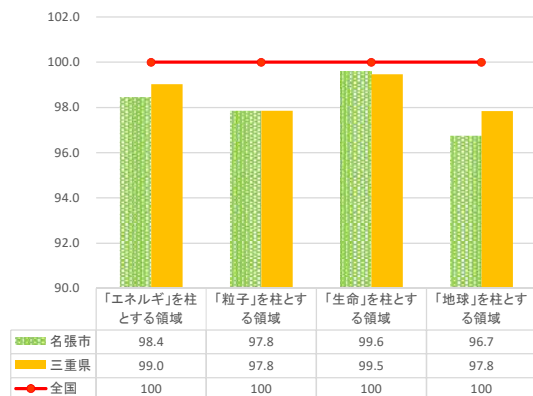
	名張市	三重県	全国
△ 第3四分位	14.0問	14.0問	14.0問
◇ 第2四分位	11.0問	11.0問	11.0問
▽ 第1四分位	8.0問	8.0問	8.0問

<領域別／平均正答率>



★領域別で見ても、名張市では「生命」を柱とする領域が一番高く、次いで「地球」、「粒子」、「エネルギー」の順に低くなっている。

全国比



<正答率が高かった問題の概要>

- 1 (1) 見いだされた問題を基に、観察の記録が誰のものであるかを選ぶ。 93.2% [選択式]
- 4 (1) 冬の天気と気温の変化を基に、問題に対するまとめを選ぶ。 83.4% [選択式]

<正答率が低かった問題の概要>

- 3 (1) 光の性質を基に、鏡を操作して、指定した的に反射させた日光を当てることができる人を選ぶ。

<問題の趣旨>

日光は直進することを理解しているかどうかをみる。

29.4% [選択式]

- 3 (4) 問題に対するまとめから、その根拠を実験の結果を基にして書く。

<問題の趣旨>

実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できるかどうかをみる。

36.4% [記述式]

- 2 (4) 凍った水溶液について、試してみたいことを基に、見いだされた問題を書く。

<問題の趣旨>

自然の事物・現象から得た情報を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できるかどうかをみる。

40.1% [記述式]

<無解答率が高かった問題の概要>

- 2 (1) 一定量の液体の体積を適切にはかり取る器具の名称を書く。 7.6% [短答式]

<学習指導に当たって>

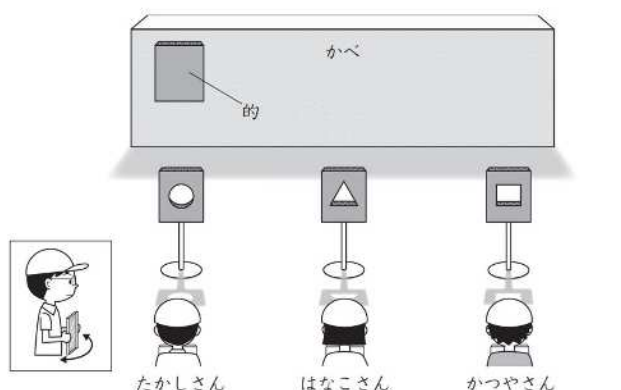
- 光の進み方に関する問題について、はね返した日光を地面に当てたり、はね返した日光の間に紙を入れたりするなどして、主体的に問題解決をする中で、はね返した日光が直進することを捉え、本設問のような場面を説明する学習活動が考えられる。(3 (1))

- 結果の具体的な数値や、それを分析した内容などを根拠として表現する場面を設定することが大切である。例えば、問題に対するまとめを行う際に、結果を具体的な数値として学級内で共有し、何を結論の根拠としているのかを明らかにし、より妥当な考えをつくりだす学習活動が考えられる。(3 (4))

- 自然の事物・現象に働きかけて得た事実について話し合う中で、自分や他者の気付きを捉え、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす場面を設定することが大切である。(2 (4))

令和4年度全国学力・学習状況調査「報告書」より

- 3 たかしさんたちは、晴れた日に科学クラブで、同じ大きさの鏡を使い、日光をはね返して、的^{てき}あてゲームをしました。



上の図のように、3人とかべの間に、それぞれ、円形、三角形、四角形に切りぬいた、鏡と同じ大きさの段ボールの板を置きました。

- (1) 3人が上の図の位置で鏡の向きを変え、それぞれが日光をはね返して、3つの段ボールの板にあてたときに、かべの左にある的に、三角形の光をあてることができるのはだれですか。下の 1 から 4 までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。

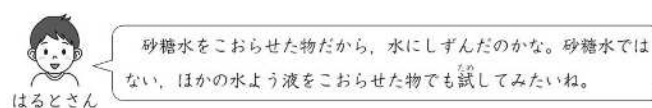
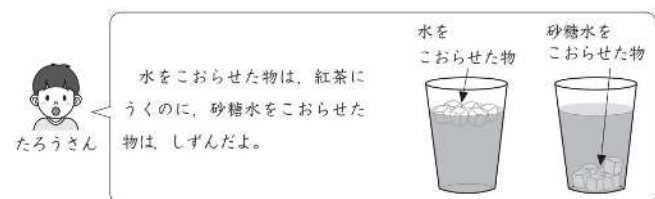
- 1 たかしさん
- 2 はなこさん
- 3 かつやさん
- 4 全員

問題の趣旨

日光は直進することを理解しているかどうかをみる。

正答率 29.4%
無解答率 0.6%

- 2 (4) 砂糖水^{さとうずい}をこおらせた物は、紅茶^{こうちや}に入れるとしずみました。



はるとさんは、試してみたいことをもとに、【問題】を見つけました。
はるとさんは、どのような【問題】を見つけたと考えられますか。その【問題】を1つ書きましょう。

問題の趣旨

自然の事物・現象から得た情報を、他者の気づきの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できるかどうかをみる。

正答率 40.1%
無解答率 9.9%

学習指導に当たって

- ③ (1) について、「知識を相互に関連付けて、より深く理解できるようにする。」

知識をより深く理解できるようにするためには、主体的な問題解決を通して知識を習得できるようにすることや、習得した知識を実際の自然の事物・現象と関連付けて説明できるようにすることが重要である。

指導に当たっては、例えば、光の進み方に関する問題について、はね返した日光を地面に当てたり、はね返した日光の間に紙を入れたりするなどして、主体的に問題解決をする中で、はね返した日光が直進することを捉え、本設問のような場面を説明する学習活動が考えられる。

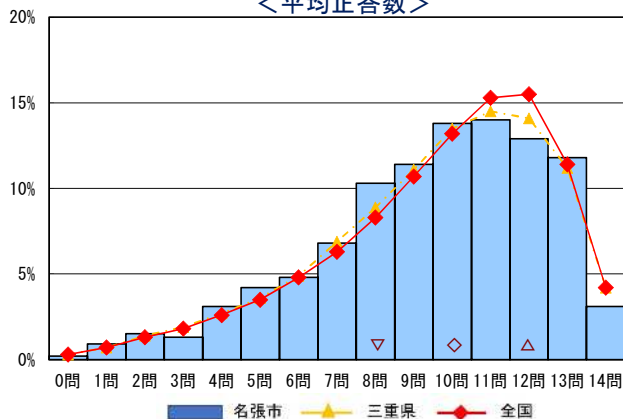
- ② (4) について、「自然の事物・現象に働きかけて得た事実について、自分や他者の気づきを基に分析して、解釈し、問題を見いだすことができるようにする。」

自然の事物・現象に働きかけて得た事実について、自分や他者の気づきを基に分析して、解釈し、問題を見いだすことができるようにするためには、事実を比較し、差異点や共通点を捉えることができるようにすることが重要である。

指導に当たっては、自然の事物・現象に働きかけて得た事実について話し合う中で、自分や他者の気づきを捉え、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす場面を設定することが大切である。例えば、空気の温度による体積の変化について学習した後、「空気は押し縮められるけれど、水は押し縮められなかったように、空気と水の性質は違うのかな」、「空気の温度と体積の関係が分かったけれど、水はどうなのかな」、などと調べたいことについて話し合う中で、「水は空気と同じように、温度を変えると体積は変わるのだろうか」といった問題を見いだす学習活動が考えられる。

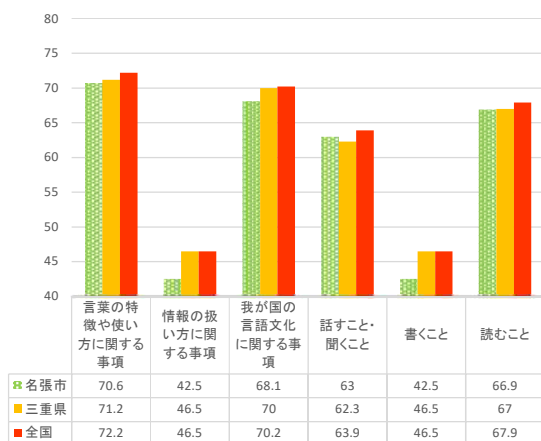
中学校	国語		
	名張市	全国	差
平均正答率	68	69.0	-1.0
無解答率	4.31	4.26	0.05

＜平均正答数＞



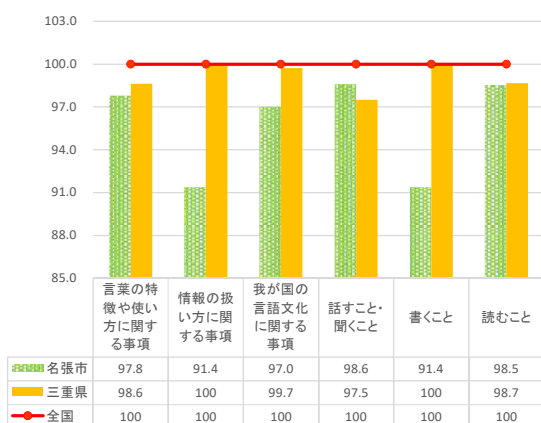
	名張市	三重県	全国
△ 第3四分位	12.0問	12.0問	12.0問
◇ 第2四分位	10.0問	10.0問	10.0問
▽ 第1四分位	8.0問	8.0問	8.0問

＜領域別／平均正答率＞



★領域別で見ると、名張市では「言葉の特徴や使い方に
関する事項」が一番高く、次いで「我が国の言語文化に関する事項」、
「読むこと」、「話すこと・聞くこと」の順に低くなっている。「情報の扱
い方に
関する事項」、「書くこと」は平均正答率が低くなっている。

全国比



＜正答率が高かった問題の概要＞

- 4 二 最初に書いた文字の漢字のバランスについて説明したものとして適切なものを選択する。
89.9% [選択式]

- 2 二① 漢字を書く。(のぞく) 84.2% [短答式]

＜正答率が低かった問題の概要＞

- 4 一 行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものとして適切なものを選択する。

＜問題の趣旨＞

行書の特徴を理解しているかどうかをみる。

36.0% [選択式]

- 2 三 農林水産省のウェブページにある資料の一部から必要な情報を引用し、意見文の下書きにスマート農業の効果を書き加える。

＜問題の趣旨＞

自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかをみる。

42.5% [記述式]

- 1 三 スピーチのどの部分をどのように工夫して話すのかと、そのように話す意図を書く。

＜問題の趣旨＞

自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話すことができるかどうかをみる。

48.0% [記述式]

＜無解答率が高かった問題の概要＞

- 3 四 「おれ」は何を「なるほど」と思ったかについて、話の展開を取り上げて書く。 12.9% [記述式]

＜学習指導に当たって＞

- 同じ文字を楷書で書いたものと行書で書いたものとを比較したり、点画の連続や点画の省略、筆順の変化などの行書の特徴が、実際に行書で書いた文字のどの部分に表れているのかを確かめたりする学習活動が考えられる。(4 一)

- 意見文を書く際には、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にすることが大切である。そのためには、まず、自分の考えが確かな事実や事柄に基づいたものであるかを確認することが必要である。その上で、自分の思いや考えを繰り返すだけではなく、根拠を文章の中に記述する必要があることを理解して書くことが重要である。根拠を記述するにあたっては、根拠となる複数の事例や専門的な立場からの知見を引用することなどが考えられる。(2 三)

- 自分の考えが分かりやすく伝わるように話すためには、聞き手に応じた語句を選択したり、話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方、言葉遣いなどに注意したりして、表現を工夫することが大切である。(1 三)

国語 2 意見文を書く(「先端技術との関わり方」)

2 小林さんは、国語の時間に、「先端技術との関わり方」というテーマで意見文を書いています。次は、文書作成ソフトを使って小林さんが書いた【意見文の下書き】と友達が書いた【コメントの一部】、小林さんがコメントを受けて集めた【農林水産省のウェブページにある資料の一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【意見文の下書き】

私たちの生活は、先端技術により、わずかな期間で大きく様変わりしてきている。便利が増えてよいと感じるが、目的に応じて選択して活用することが大切だと思う。

そう考えるようになったのは、農業を営み、広大な農地を二人で管理している祖父に、スマート農業についての話を聞いたからだと、祖父は「先づいかに自分の土地をうまく使うか」を第一に考える。祖父は、ロボットトラクタを導入し、作業の省力化と自動化した。そのおかげで、農地を耕すだけの機をいれただけにとに加え、草を刈る刈草機の作業も効率よく進むようになった。負担が軽減したことをとらえてみるに祖父は、他にやりたことがあるものはないかと質問してみた。すると、「スマート農業に関する様々な先端技術はあるが、これまでの経験を生かして対応できるので、他には取り入れていない」とのことだ。スマート農業は、作業負担の軽減やコスト削減の要素もあるようだ。

これは、私たちが意識しなければならないことだと思った。今後、身の回りには様々な先端技術がさらに普及していくだろう。私も祖父母のように、目的に応じて選択しながら先端技術を活用していきたい。

【コメントの一部】

上野
他にどのような効果があるのかを具体的に書いた方がよいのではないのでしょうか。

中村
私も同感です。スマート農業の効果を書き加えることで、小林さんが、自分の考えの根拠として示しているこの段落の内容が分かりやすくなると思います。

【農林水産省のウェブページにある資料の一部】

スマート農業について

「農業」 × 「先端技術」 = 「スマート農業」

「スマート農業」とは、「ロボット、AI、IoTなど先端技術を活用する農業」のこと。
 ➡「生産現場の課題を先端技術で解決する！農業分野におけるSociety 5.0®の実現」

※Sprint x5日：政府が提議する、テクノロジーが変化した未来社会の適

スマート農業の効果

- ① 作業の自動化
ロボットトラクタ、スマホで操作する水田の水管理システムなどの活用により、作業を自動化し人手を省くことが可能に
- ② 情報共有の格差低減
位置情報と連動した経営管理アプリの活用により、作業の記録をデジタル化・自動化し、熟練者でなくても生産活動の主体になることが可能に
- ③ データの活用
ドローン・衛星によるセンシングデータや気象データのAI解析により、農作物の生育や病虫害を予測し、高度な農業経営が可能に

(農林水産省ウェブサイトによる。)

(注1) AI=人工智慧。

(注2) 仏語「アトモータール」は自動車や電化製品などの様々なものがインターネットに掲載されているシステム。

(注9) おおしんぎだまーおしんぎ一本道田とび計画、解説！、自編した情報

小林さんは、野さん、中村さんかの「コメトの一部」を踏まえて、たスマート農業には、作業を自動化すること以外の効果もあるのだ。のすぐあとには、スマート農業の効果を書き加えることにしました。あんなならどのように書きますか。次の条件と条件2にしたがつて書きなさい。

条件1 「黒川水産省のウェブページにある資料の一部」から必要な情報を引用して書くこと。引用する部分は、かきかっ()、でくくること。

条件2 「例えは」に続けて書くこと。

第2次のページの枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

例えば、

問題の趣旨

自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかをみる。

学習指導に当たって

「考えの根拠が明確になるように情報を引用して書く。」

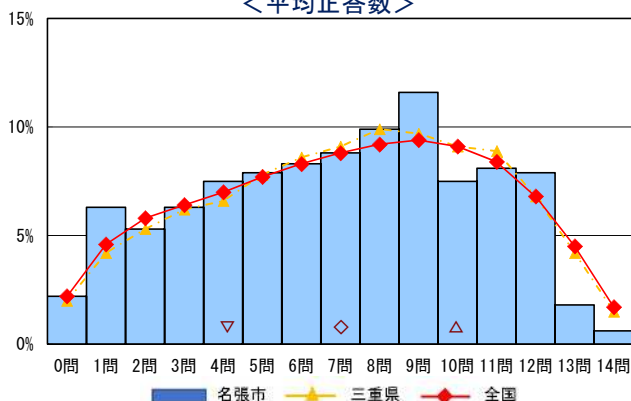
意見文を書く際には、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にすることが大切である。そのためには、まず、自分の考えが確かな事実や事柄に基づいたものであるかを確かめることが必要である。その上で、自分の思いや考えを繰り返すだけではなく、根拠を文章の中に記述する必要があることを理解して書くことが重要である。根拠を記述するに当たっては、根拠となる複数の事例や専門的な立場からの知見を引用することなどが考えられる。

例えば、第1学年〔思考力、判断力、表現力等〕の「B書くこと」の(2)「ア 本や資料から文章や図表などを引用して説明したり記録したりするなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動。」などとの関連を図り、資料から必要な部分を引用して自分の考えを伝える文章を書き、互いに読み合うなどの学習活動が考えられる。その際、第1学年〔知識及び技能〕の(2)「イ 比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使うこと。」との関連を図り、引用の仕方について理解を深めるように指導することが有効である。また、生徒の実態に応じて、意見文を書く学習に先立ち、本問を活用した学習活動を行うことも考えられる。

「令和4年度全国学力・学習状況調査「報告書」より」

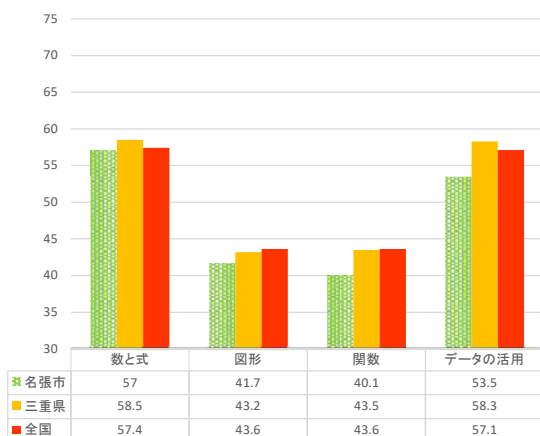
中学校	数学		
	名張市	全国	差
平均正答率	49	51.4	-2.4
無解答率	11.14	10.75	0.39

＜平均正答数＞



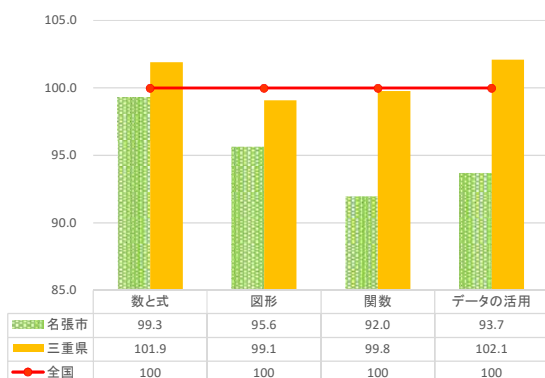
	名張市	三重県	全国
△ 第3四分位	10.0問	10.0問	10.0問
◇ 第2四分位	7.0問	8.0問	7.0問
▽ 第1四分位	4.0問	5.0問	4.0問

＜領域別／平均正答率＞



★領域別で見ると、名張市では「数と式」が一番高く、次いで「データの活用」、「図形」、「関数」の順に低くなっている。

全国比



＜正答率が高かった問題の概要＞

5 容器のふたを投げたときに下向きになる確率を選ぶ。
80.3% [選択式]

2 連立二元一次方程式を解く。

$$\begin{cases} 2x + y = 1 \\ y = x + 4 \end{cases}$$

76.7% [短答式]

＜正答率が低かった問題の概要＞

9 (2) $\angle ABE$ と $\angle CBF$ の和が 30° になる理由を示し、 $\angle EBF$ の大きさがいつでも 60° になることの証明を完成する。

＜問題の趣旨＞

筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することができるかをみる。

11.8% [記述式]

6 (3) ある偶数との和が4の倍数になる数について、予想した事柄を表現する。

＜問題の趣旨＞

結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明することができるかをみる。

32.7% [記述式]

4 変化の割合が2である。一次関数の関係を表した表を選ぶ。

＜問題の趣旨＞

一次関数の変化の割合の意味を理解しているかをみる。

33.3% [選択式]

＜無解答率が高かった問題の概要＞

8 (2) 目標の800kgを達成するまでの日数を求める方法を説明する。

27.6% [記述式]

＜学習指導に当たって＞

○ 結論を導くために何が分かればよいかを明らかにしたり、与えられた条件を整理したり、着目すべき性質や関係を見だし、事柄が成り立つ理由を、筋道を立てて考えたりする活動を取り入れ、数学的に説明できるように指導することが大切である。
(9(2))

○ 与えられた事柄や予想した事柄が成り立つかどうかを、具体例をあげて調べる活動を通して、結論が成り立つための前提を捉え、見いだした事柄を数学的に表現できるように指導することが大切である。
(6(3))

○ 伴って変わる二つの数量 x 、 y の変化の様子を表から読み取り、一次関数 $y = ax + b$ の変化の割合を求めることができるように指導することが大切である。その際、 x 、 y の増加量やその割合を調べる活動を通して、変化の割合の意味を理解できるようにすることが大切である。(4)

数学 ⑨ 見いだした図形の性質を、与えられた条件を基に考察すること（四角形と正三角形）

(2) 琴音さんは、次の図2や図3のように、21ページの図1の長方形ABCDの辺の長さをいろいろに変えた図をかきました。このときも、 $\triangle ABE = \triangle CFB$ が成り立つので、 $EB = BF$ がいえます。琴音さんは、 $EB = BF$ 以外にも、辺や角についていえることがないか調べました。

図2

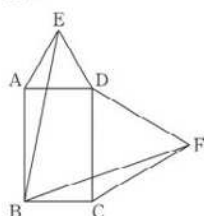
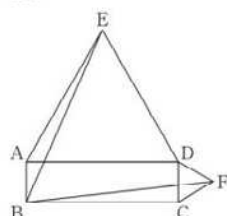


図3

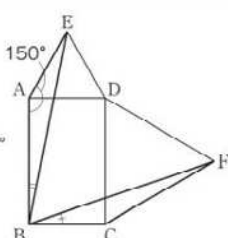


調べたことから、琴音さんは、長方形ABCDの辺の長さを変えても、 $\angle EBF$ の大きさがいつでも 60° になると予想し、次のように考えました。

琴音さんの考え

① $\angle EBF$ について、
 $\angle ABC = 90^\circ$ より、
 $\angle ABE + \angle CBF = 30^\circ$ がいえれば、
 $\angle EBF = 90^\circ - 30^\circ$ となり、
 $\angle EBF$ が 60° になることがいえる。

② $\angle ABE + \angle CBF = 30^\circ$ になることは、 $\triangle ABE = \triangle CFB$ からわかる等しい角と、
 $\angle EAB = 150^\circ$ を用いて示すことができる。



$\angle ABE + \angle CBF = 30^\circ$ を示すことで、長方形ABCDの辺の長さを変えても、 $\angle EBF$ の大きさがいつでも 60° になることが説明できます。琴音さんの考えの②にある $\triangle ABE = \triangle CFB$ と $\angle EAB = 150^\circ$ はすでにわかっていることとして、 $\angle ABE + \angle CBF = 30^\circ$ になることを下の説明の□に示し、 $\angle EBF$ の大きさがいつでも 60° になることの説明を完成しなさい。

説明

$\angle ABE + \angle CBF = 30^\circ$ になることが示せたので、
 $\angle EBF = 90^\circ - (\angle ABE + \angle CBF)$ より、
 $\angle EBF = 90^\circ - 30^\circ = 60^\circ$ になる。

問題の趣旨

筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる。

正答率 11.8%

無解答率 39.3%

学習指導に当たって

「ある条件の下で成り立つ図形の性質を見だし、それが成り立つ理由を数学的に説明できるようにする。」

結論を導くために何が分かればよいかを明らかにしたり、与えられた条件を整理したり、着目すべき性質や関係を見だし、事柄が成り立つ理由を、筋道を立てて考えたりする活動を取り入れ、数学的に説明できるように指導することが大切である。

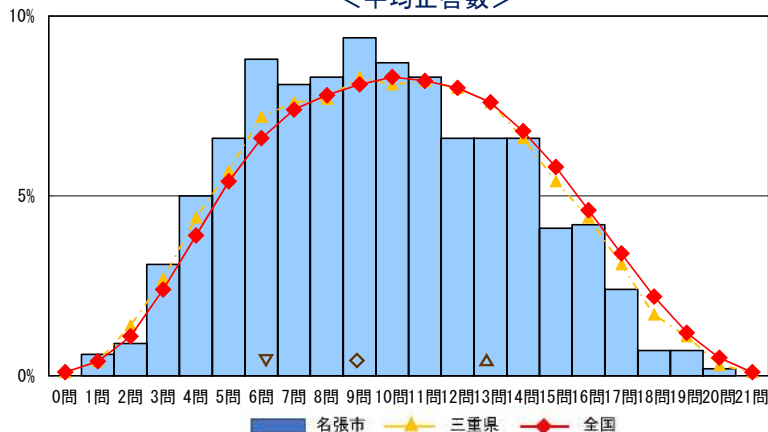
本設問を使って授業を行う際には、コンピュータなどを利用して長方形ABCDの辺の長さをいろいろに変えた図を観察し、線分EBと線分BFのなす角である $\angle EBF$ が 60° になることを予想する場面を設定することが考えられる。その上で、予想した事柄が一般的に成り立つことの理由を数学的に説明する場面を設定することが考えられる。

例えば、 $\angle EBF$ の大きさが 60° になるかどうかを確かめるためには、 $\angle ABE$ と $\angle CBF$ の和が分かればよいことを話し合うなどして、説明の見通しや構想を立てることが大切である。その際、同じ長さの辺や、同じ大きさの角に、印や記号を付けることで、図形の性質や関係を直観的に捉え、説明の見通しや構想を立てることが考えられる。さらに、他者との話し合いを通して、前提となる条件、正しいと認めた事柄、説明しようとする事柄を明らかにし、図形の性質や関係を論理的に考察し、表現することも考えられる。

また、予想した事柄「 $\angle EBF$ が 60° になる。」ことを説明する場面において、 $\angle EBF$ が 60° になることを示すためには、 $\angle ABE$ と $\angle CBF$ の和が 30° になることがいえればよいといった構想を立て、「 $\angle ABE$ と $\angle CBF$ の和は 30° になるか。」と焦点化して考察を進めることが考えられる。さらに、既に証明された $\triangle ABE$ と $\triangle CFB$ が合同であることや、 $\angle ABE$ と $\angle AEB$ の和について考えることで、 $\angle ABE$ と $\angle CBF$ の和が 30° になるための根拠について明らかにすることが大切である。

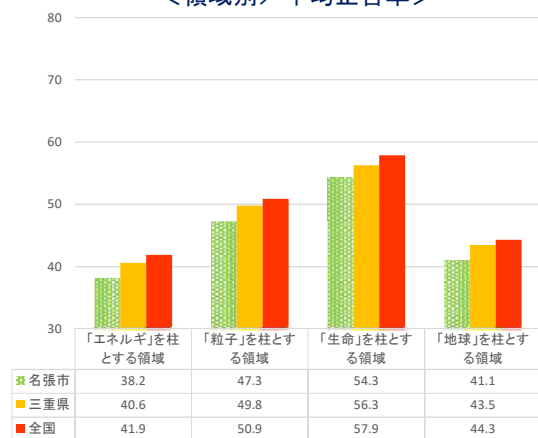
中学校	理科		
	名張市	全国	差
平均正答率	46	49.3	-3.3
無解答率	4.03	3.44	0.59

<平均正答数>



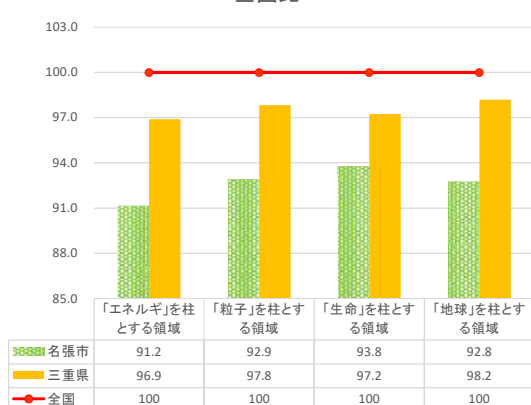
	名張市	三重県	全国
△ 第3四分位	13.0問	13.0問	13.0問
◇ 第2四分位	9.0問	10.0問	10.0問
▽ 第1四分位	6.0問	7.0問	7.0問

<領域別／平均正答率>



★領域別で見ると、名張市では「生命」を柱とする領域が一番高く、次いで「粒子」、「地球」、「エネルギー」の順に低くなっている。

全国比



<正答率が高かった問題の概要>

3 (1) 分子モデルで表した図を基に、水素の燃料を化学反応式で表す。 79.9% [選択式]

1 (2) タッチパネルの反応に水が関係しているかを調べるために、変える条件と変えない条件を適切に設定した実験操作の組合せを選択する。 75.3% [選択式]

<正答率が低かった問題の概要>

5 (1) おもりに働く重力とつり合う力の矢印を選択し、その力について説明する。

<問題の趣旨>

力の働きに関する知識及び技能を活用して、物体に働く重力とつり合う力を矢印で表し、その力を説明できるかどうかをみる。

9.0% [選択式]

3 (3) 水素を燃料として使うしくみの例の全体を働かせるおもとを指摘する。

<問題の趣旨>

化学変化に関する知識と技能と「エネルギー」を柱とする領域の知識技能を関連付け、水素を燃料として使うしくみの例の全体を働かせるおもととして必要なものを分析して解釈できるかどうかをみる。

21.7% [短答式]

2 (3) 上空の気象情報を地上の観測データを用いて推論した考察の妥当性について判断する。

<問題の趣旨>

飛行機雲の残り方を科学的に探究する学習場面において、地上の観測データを用いて考察を行った他者の考えについて、多面的、総合的に検討して改善できるかどうかをみる。

26.3% [選択式]

<無解答率が高かった問題の概要>

5 (3) 考察の妥当性を高めるために、測定範囲と刻み幅をどのように調整して測定点を増やすかを説明する。 35.7% [記述式]

<学習指導に当たって>

○ 物体に力を働かせる実験を行い、一つの物体に二つの力が働いていることに気付くようにし、それらの力の大きさや向きを矢印で表して、つり合いの関係を説明する学習場面を設定することが考えられる。(5 (1))

○ 水の電気分解や水素の燃焼などの化学変化には、電気、熱、光など「エネルギー」を柱とする領域が関連していることに気付くようにすることが考えられる。その際、化学変化を起こすきっかけとなるエネルギーの形態だけでなく、それらが生み出される過程について触れることも重要である。(3 (3))

○ 他者の考察の根拠としている観測データの種類や科学的に探究する方法が妥当か検討する学習場面を設定することが考えられる。その際、用いた観測データが自然の事物・現象と対応しているか、観測データの読み取りが適切であるかなどの視点を明示することが重要である。(2 (3))

令和4年度全国学力・学習状況調査「報告書」より

理科 ⑤ 押して使うばねを科学的に探究する(「エネルギー」を柱とする領域)

- ⑤ ばねを押すとき、加える力の大きさとばねが縮む長さの関係について、理科の授業で科学的に探究しました。

(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

押して使うばねを探究する場面

ばねのびは、加える力の大きさと比例の関係がありました。

ばねは、生活の中で押して使うことが多いですね。

ばねを押すときも、比例の関係が成り立つのかな。



ノートの一部

【課題】

ばねが縮む長さは、加える力の大きさに比例するか。

【実験の計画】

図1の装置をつくり、ばねに加える力の大きさを变化させたときのばねの長さを3回測定して平均をとり、ばねが縮む長さを計算してグラフに表す。

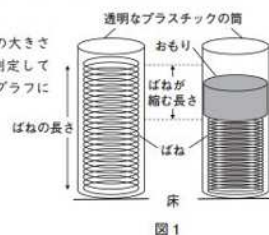


図1

【実験の結果】

力の大きさ(N)	0	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5
ばねの長さ(cm)	10.0	8.0	6.0	4.0	4.0	4.0
縮む長さ(cm)	0	2.0	4.0	6.0	6.0	6.0

【考察】

.....

- (1) 図2のように、ばねにのせたおもりが静止したとき、矢印で表したおもりにはたらく重力とつり合う力を、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。

また、選んだ力の説明として適切なものを、下の力からケまでの中から1つ選びなさい。

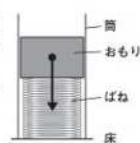
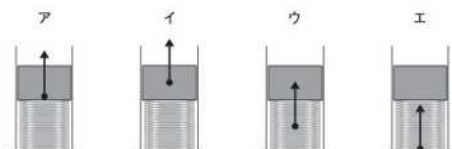


図2 おもりにはたらく重力



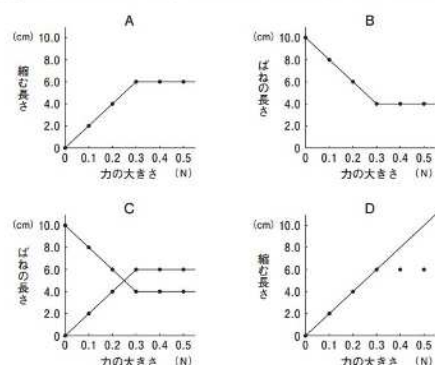
カ おもりがばねを押す力

ク おもりが床を押す力

キ ばねがおもりを押す力

ケ 床がおもりを支える力

- (2) 【考察】に最も適したグラフを、下のAからDまでの中から1つ選びなさい。



問題の趣旨(1)

力の働きに関する知識及び技能を活用して、物体に働く重力とつり合う力を矢印で表し、その力を説明できるかどうかをみる。

問題の趣旨(2)

課題に正対した考察を行うためのグラフを作成する技能が身に付いているかどうかをみる。

正答率 9.0%

無解答率 0.4%

正答率 42.5%

無解答率 0.4%

学習指導に当たって

- (1) については、「物体に働く重力とつり合う力を矢印で表して説明できるようにする。」

力の働きについて科学的に探究する上で、力は大きさと向きによって表されることが物体に働く2力のつり合いなど、目に見えない力を矢印で表して説明することは大切である。

指導に当たっては、物体に力を働かせる実験を行い、一つの物体に二つの力が働いていることに気付くようにし、それらの力の大きさや向きを矢印で表して、つり合いの関係を説明する学習場面を設定することが考えられる。

- (2) については、「課題に正対した考察を行うために適切なグラフを作成できるようにする。」

ばねを押す力の大きさとばねが縮む長さの関係を科学的に探究する上で、課題に正対した考察を行うために適切なグラフを作成する技能を身に付けることは大切である。

指導に当たっては、課題に立ち返りながら考察を行うために、どのようなグラフを作成すればよいかを検討する学習場面を設定することが考えられる。その際、グラフの横軸である「変化させる量」と縦軸である「変化した量」が何に当たるかを考え、グラフを作成することが重要である。

3—① 児童生徒質問紙調査結果

「児童生徒質問紙調査」とは、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査です。

ここでは、名張市平均を前回調査の令和3年度と比較したときの増減を矢印で、全国平均と比較したときの差を数値で示しています。

小学校

※数字は、質問のあとに記載の()内の選択肢で回答した割合を表しています。

	質問事項	年度	R3	増減	R4
学習習慣等	家で自分で計画を立てて、勉強をしていますか(当てはまる)	名張市	23.3	↗	25.0
		全国	31.2		27.5
		全国との差	-7.9		-2.5
	学校の授業以外に、普段(月～金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、勉強しますか ※学習塾や家庭教師含む (2時間以上勉強する)	名張市	18.7	↗	20.1
		全国	26.9		25.1
		全国との差	-8.2		-5.0
	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強しますか ※学習塾や家庭教師含む (2時間以上勉強する)	名張市	19.0	↗	22.9
		全国	29.7		26.2
		全国との差	-10.7		-3.3
国語	国語の勉強は好きですか(当てはまる)	名張市	18.5	↗	23.2
		全国	22.7		23.4
		全国との差	-4.2		-0.2
	国語の授業の内容はよく分かりますか(当てはまる)	名張市	41.5	↗	46.4
		全国	39.5		39.5
算数	算数の勉強は好きですか(当てはまる)	名張市	39.1	↘	34.3
		全国	40.5		36.2
		全国との差	-1.4		-1.9
	算数の授業の内容はよく分かりますか(当てはまる)	名張市	54.8	↘	51.0
		全国	51.6		45.6
理科	理科の勉強は好きですか(当てはまる) 〔前回調査H30年度〕	名張市	40.4	↗	43.0
		全国	52.6		49.3
		全国との差	-12.2		-6.3
	理科の授業の内容はよく分かりますか(当てはまる) 〔前回調査H30年度〕	名張市	49.2	↗	54.7
		全国	55.9		54.9
授業改善	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか(当てはまる)	名張市	26.2	↗	30.5
		全国	30.3		30.5
		全国との差	-4.1		0.0
	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。(当てはまる)	名張市	26.8	↗	34.7
		全国	33.0		37.7
		全国との差	-6.2		-3.0
	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。 (当てはまる)	名張市	30.9	↗	32.1
		全国	32.6		33.2
		全国との差	-1.7		-1.1

質問事項		年度	R3	増減	R4
学習習慣等	家で自分で計画を立てて、勉強をしていますか(当てはまる)	名張市	18.8	↘	16.2
		全国	19.4		15.4
		全国との差	-0.6		+0.8
	学校の授業以外に、普段(月～金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、勉強しますか ※学習塾や家庭教師含む (2時間以上勉強する)	名張市	29.8	↘	26.9
		全国	41.8		35.2
		全国との差	-12.0		-8.3
	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強しますか ※学習塾や家庭教師含む (2時間以上勉強する)	名張市	38.0	↘	34.4
		全国	53.5		44.9
		全国との差	-15.5		-10.5
国語	国語の勉強は好きですか(当てはまる)	名張市	22.3	↘	20.1
		全国	23.5		24.2
		全国との差	-1.2		-4.1
	国語の授業の内容はよく分かりますか(当てはまる)	名張市	33.7	↗	35.7
		全国	31.5		31.9
		全国との差	+2.2		+3.8
数学	数学の勉強は好きですか(当てはまる)	名張市	30.8	↗	33.1
		全国	31.2		29.9
		全国との差	-0.4		+3.2
	数学の授業の内容はよく分かりますか(当てはまる)	名張市	37.8	↗	46.0
		全国	35.6		36.1
		全国との差	+2.2		+9.9
理科	理科の勉強は好きですか(当てはまる) 〔前回調査H30年度〕	名張市	26.9	↗	28.5
		全国	30.0		32.2
		全国との差	-3.1		-3.7
	理科の授業の内容はよく分かりますか(当てはまる) 〔前回調査H30年度〕	名張市	29.6	↗	38.1
		全国	26.6		30.9
		全国との差	+3.0		+7.2
授業改善	1, 2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方, 教材, 学習時間などになっていましたか(当てはまる)	名張市	23.5	↗	26.2
		全国	23.5		22.8
		全国との差	0.0		+3.4
	1, 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか(当てはまる)	名張市	37.7	↘	37.4
		全国	33.5		31.2
		全国との差	+4.2		+6.2
	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか(当てはまる)	名張市	28.3	↗	30.9
		全国	33.9		34.1
		全国との差	-5.6		-3.2
	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか(当てはまる)	名張市	23.8	↗	26.3
		全国	26.3		25.6
		全国との差	-2.5		+0.7

小学校

※数字は、質問のあとに記載の()内の選択肢で回答した割合を表しています。

	質問事項	年度	R3	増減	R4
道徳	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思いますか(当てはまる)	名張市	41.0	↘	40.9
		全国	45.6		42.5
		全国との差	-4.6		-1.6
I C T	5年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか(週1回以上)	名張市	60.7	↗	92.3
		全国	40.1		83.2
		全国との差	+20.6		+9.1
	学校で、学級の友達と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか。(ほぼ毎日)	名張市	—		9.9
		全国	—		6.4
		全国との差	—		+3.5
	学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか(ほぼ毎日)	名張市	—		11.7
		全国	—		6.9
		全国との差	—		+4.8
生 活 習 慣	朝食を毎日食べていますか(当てはまる)	名張市	85.0	↗	85.7
		全国	85.8		84.9
		全国との差	-0.8		+0.8
	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか(当てはまる)	名張市	32.0	↗	35.6
		全国	38.3		40.7
		全国との差	-6.3		-5.1
	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか(当てはまる)	名張市	51.3	↗	54.2
		全国	55.0		56.8
		全国との差	-3.7		-2.6
	普段(月～金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか ※コンピュータ、スマホ等含む(2時間以上)	名張市	53.3	↘	52.5
		全国	49.4		50.2
		全国との差	+3.9		+2.3
	普段(月～金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(ゲームをする時間は除きます)(2時間以上)	名張市	—		32.9
		全国	—		32.5
		全国との差			+0.4
自 己 有 用 感 等	自分には、よいところがあると思いますか(当てはまる)	名張市	33.4	↗	35.1
		全国	36.2		39.4
		全国との差	-2.8		-4.3
	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う(当てはまる)	名張市	49.4	↗	53.2
		全国	43.1		46.3
		全国との差	+6.3		+6.9
	将来の夢や目標を持っていますか(当てはまる)	名張市	60.5	↗	62.0
		全国	60.2		60.4
		全国との差	+0.3		+1.6
	人が困っているときは、進んで助けていますか(当てはまる)	名張市	43.8	↗	44.0
		全国	43.6		44.9
		全国との差	+0.2		-0.9

中学校

※数字は、質問のあとに記載の()内の選択肢で回答した割合を表しています。

	質問事項	年度	R3	増減	R4
道徳	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか(当てはまる)	名張市	44.2	↗	44.4
		全国	48.8		43.0
		全国との差	-4.6		+1.4
I C T	1、2年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか(週1回以上)	名張市	43.2	↗	95.5
		全国	33.4		80.6
		全国との差	+9.8		+14.9
	学校で、学級の友達と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか。(ほぼ毎日)	名張市	—		6.4
		全国	—		5.0
		全国との差			+1.4
	学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか。(ほぼ毎日)	名張市	—		5.2
		全国	—		4.7
		全国との差			+0.5
生 活 習 慣	朝食を毎日食べていますか(当てはまる)	名張市	82.9	↘	81.0
		全国	81.8		79.9
		全国との差	+1.1		+1.1
	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか(当てはまる)	名張市	36.0	↗	39.2
		全国	36.3		37.0
		全国との差	-0.3		+2.2
	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか(当てはまる)	名張市	56.8	↗	59.7
		全国	57.6		56.8
		全国との差	-0.8		+2.9
	普段(月～金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか ※コンピュータ、スマホ等含む(2時間以上)	名張市	61.6	↘	56.5
		全国	57.0		50.3
		全国との差	+4.6		+6.2
	普段(月～金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(ゲームをする時間は除きます)(2時間以上)	名張市	—		57.9
		全国	—		52.0
		全国との差			+5.9
自 己 有 用 感 等	自分には、よいところがあると思いますか(当てはまる)	名張市	36.6	↘	33.9
		全国	34.5		36.0
		全国との差	+2.1		-2.1
	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う(当てはまる)	名張市	34.9	↗	46.2
		全国	31.3		39.9
		全国との差	+3.6		+6.3
	将来の夢や目標を持っていますか(当てはまる)	名張市	42.6	↘	37.6
		全国	40.5		39.8
		全国との差	+2.1		-2.2
	人が困っているときは、進んで助けていますか(当てはまる)	名張市	38.7	↘	34.3
		全国	41.6		40.6
		全国との差	-2.9		-6.3

小学校

※数字は、質問のあとに記載の()内の選択肢で回答した割合を表しています。

	質問事項	年度	R3	増減	R4
規範意識	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか (当てはまる)	名張市	88.8	↘	86.4
		全国	84.1		83.9
		全国との差	+4.7		+2.5
	人の役に立つ人間になりたいと思いますか(当てはまる)	名張市	74.1	↗	74.5
		全国	75.4		75.1
		全国との差	-1.3		-0.6
	携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の 人と約束したことを守っていますか(当てはまる)	名張市	34.8	↗	38.5
		全国	38.0		39.4
		全国との差	-3.2		-0.9
地域貢献	今住んでいる地域の行事に参加していますか(当てはまる)	名張市	25.9	↘	20.8
		全国	26.7		23.4
		全国との差	-0.8		-2.6
	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか(当てはまる)	名張市	14.9	—	14.9
		全国	17.8		17.6
		全国との差	-2.9		-2.7
読書習慣	学校の授業時間以外に、ふだん(月～金曜日)、1日あたりどれ くらいの時間、読書をしますか ※教科書参考書、漫画雑誌除く (30分以上)	名張市	34.3	↘	31.0
		全国	37.4		36.4
		全国との差	-3.1		-5.4

中学校

※数字は、質問のあとに記載の()内の選択肢で回答した割合を表しています。

	質問事項	年度	R3	増減	R4
規範意識	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか (当てはまる)	名張市	80.7	↗	82.5
		全国	81.4		82.6
		全国との差	-0.7		-0.1
	人の役に立つ人間になりたいと思いますか(当てはまる)	名張市	78.8	↘	74.4
		全国	74.3		73.5
		全国との差	+4.5		+0.9
	携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の 人と約束したことを守っていますか(当てはまる)	名張市	27.7	↗	35.0
		全国	30.9		32.2
		全国との差	-3.2		+2.8
地域貢献	今住んでいる地域の行事に参加していますか(当てはまる)	名張市	14.9	↘	13.3
		全国	16.3		14.3
		全国との差	-1.4		-1.0
	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか(当てはまる)	名張市	9.6	↘	8.7
		全国	12.6		11.1
		全国との差	-3.0		-2.4
読書習慣	学校の授業時間以外に、ふだん(月～金曜日)、1日あたりどれ くらいの時間、読書をしますか ※教科書参考書、漫画雑誌除く (30分以上)	名張市	25.2	↘	21.2
		全国	28.9		27.3
		全国との差	-3.7		-6.1

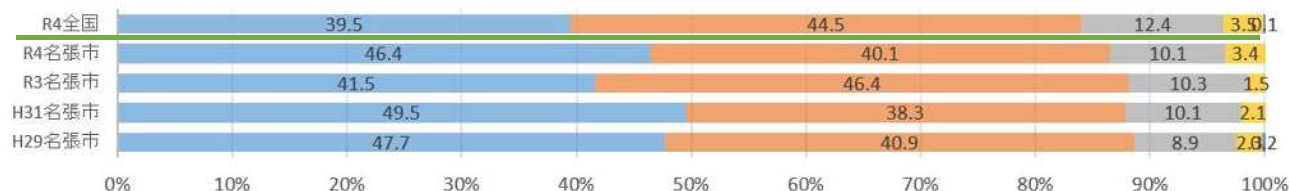
学校では

わかる授業のための授業改善に取り組んでいます。

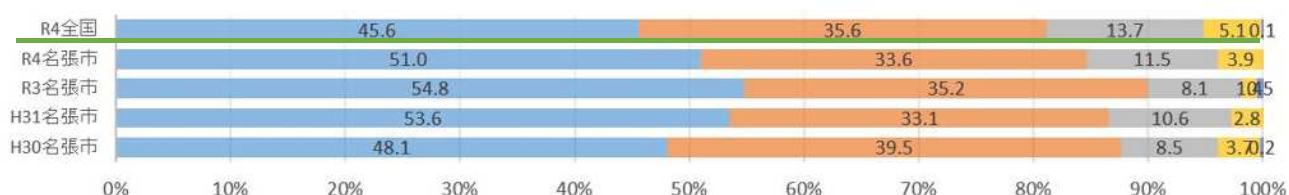
質問項目：授業の内容はよく分かりますか

■当てはまる ■どちらかといえば当てはまる ■どちらかといえば当てはまらない ■当てはまらない

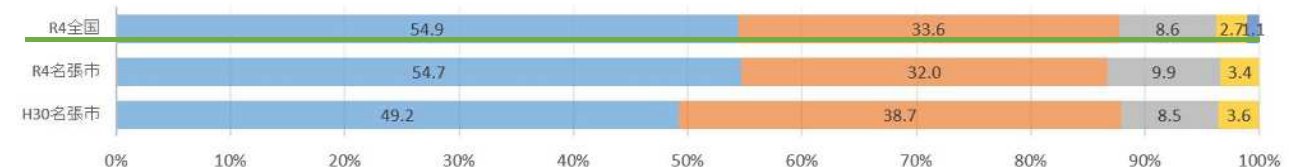
小学校国語



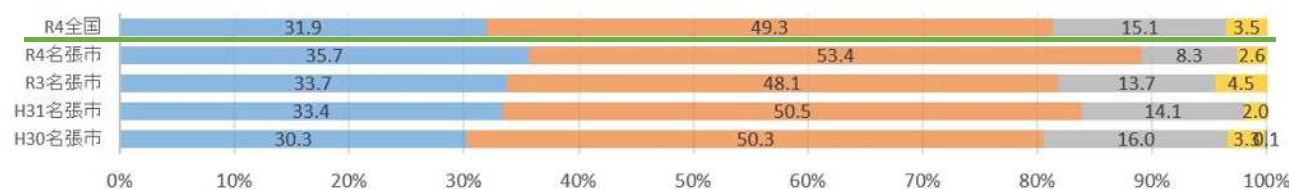
小学校算数



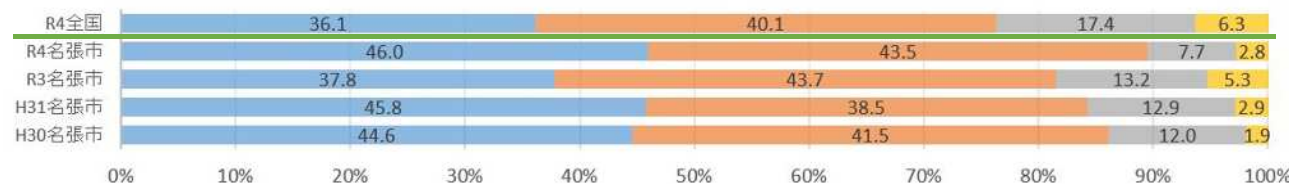
小学校理科



中学校国語



中学校数学



中学校理科



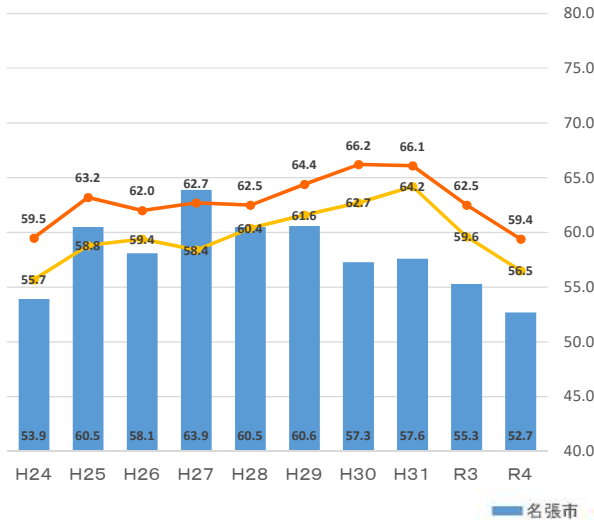
肯定的な回答割合が、すべての教科で80%を越えており、経年で見ても増加傾向です。全国との比較では、小学校理科がやや低くなりましたが、他の教科においては名張市は高くなりました。今後も、子どもたちが“わかる”と実感できる授業づくりに努め、主体的に学習に取り組めるよう授業改善を図り、学力向上につなげます。

家庭では

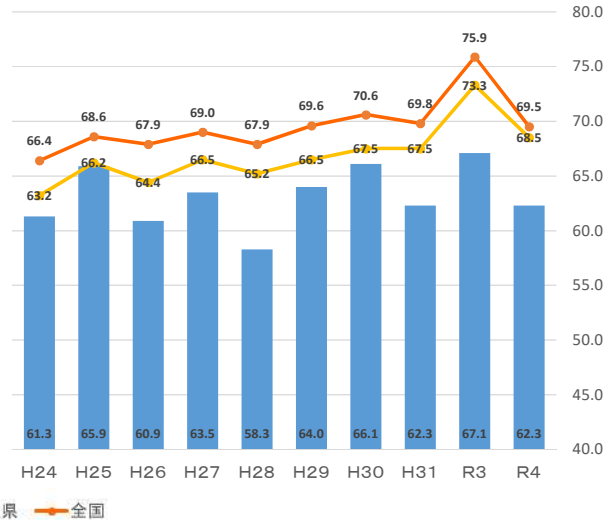
家庭学習や読書の習慣化に努める必要があります。

質問項目：1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。（1時間以上）※学習塾、家庭教師含む

小学校 平日勉強

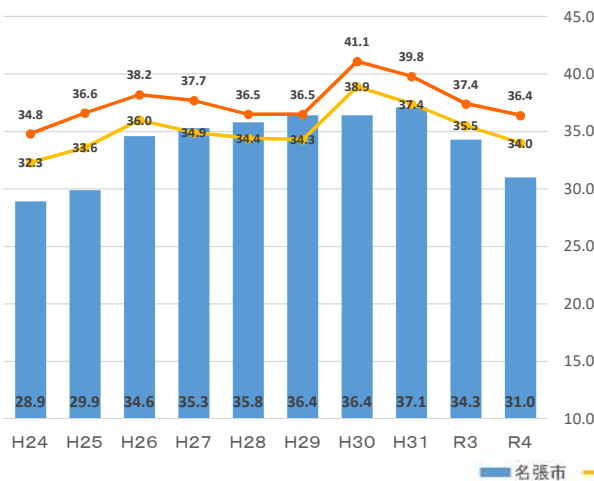


中学校 平日勉強

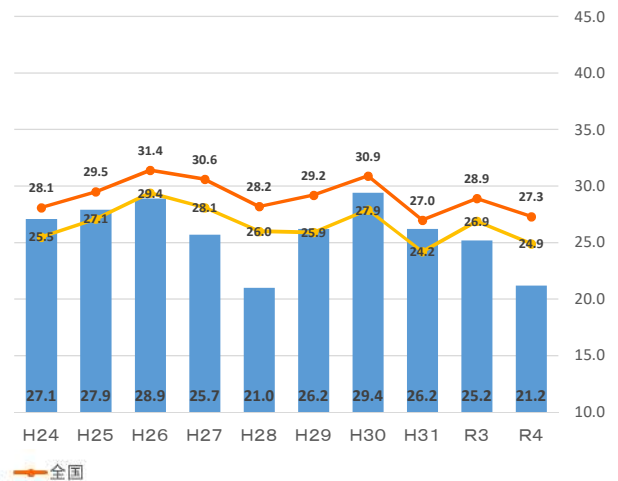


質問項目：1日当たりどれくらいの時間、読書しますか。（30分以上）※教科書、参考書、漫画、雑誌除く

小学校 平日読書



中学校 平日読書



家庭学習が「1時間以上」と回答した児童生徒の割合が全国平均より低い傾向が続いています。学校での学習内容を定着させるために、家庭学習は重要な意味をもちます。学校の宿題とともに、自主学習にも意欲的かつ継続的に取り組めるよう、ICT機器等も活用し、学校と家庭が連携しながら取り組んでいく必要があります。

また、読書時間が「30分以上」の割合も同様に低い結果となっています。学校では、朝読書や読書週間の期間を設けるなど、工夫して取り組んでいます。PTAや学校運営協議会等の学校関係組織とも連携しながら、家庭でも読書に取り組む機会を増やしていく必要があります。

3—② 児童生徒質問紙調査結果と教科の平均正答率との関係＜クロス集計＞

「児童生徒質問紙調査」とは、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査です。

ここでは、「児童生徒質問紙調査」のうち、特徴的な資料をいくつか示し、その傾向と分析を記載しています。

グラフの見方

＜例示＞

質問事項

○国語の授業の内容はよく分かりますか。

＜グラフ内の数値は(%)です＞

同じ質問に対し、
ページの左半分は小学校
右半分は中学校のグラフです。

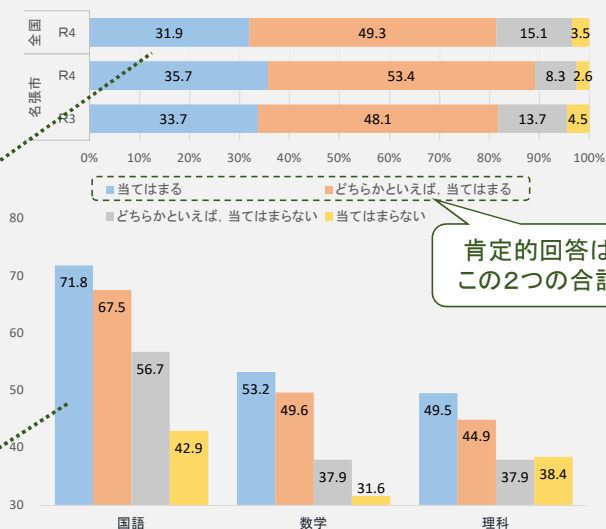
中学校

このグラフでは、児童生徒が回答した選択肢別の割合を、そのまま表しています。
R4名張市平均（中段）を、全国平均（上段）、R3名張市平均（下段）とそれぞれ比較することができます。

「国語の授業の内容はよく分かりますか」（当てはまる）と回答した生徒は、
全 国で 31.9%
名張市で 35.7% です。

このグラフでは、児童生徒が回答した選択肢と、平均正答率との関係を、クロス集計しています。

右のグラフで、「当てはまる」と回答した生徒の、国語の平均正答率は、
名張市で 71.8%です。



肯定的回答はこの2つの合計

「国語の授業の内容はよく分かりますか」という質問に対して、「国語」で見ると、
「当てはまる」と回答した名張市の生徒の平均正答率は、71.8%、
「当てはまらない」と回答した名張市の生徒の平均正答率は、42.9%で
28.9%の開きがあり、
「国語の授業の内容はよく分かる」と回答している生徒ほど、
「国語」の調査問題の正答率も高いということがわかります。

同様に他の調査問題も見ると、「数学」では、26.2%の開きがあり、
「肯定的な回答をしている生徒ほど、平均正答率が高い」という傾向が、顕著に表れています。

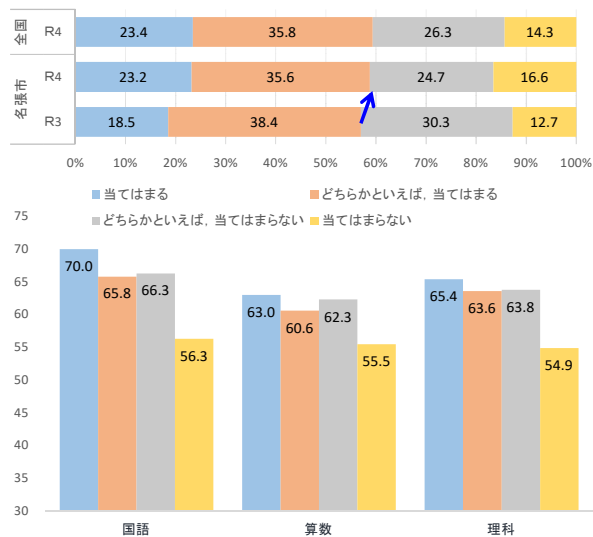
※いずれのグラフにも無回答率は掲載していません。

また、質問によっては、回答項目（時間帯等）が多いため、傾向がわかる回答項目（時間帯）に関してのみ、掲載しています。そのため、合計数値が100%になっていない場合があります。

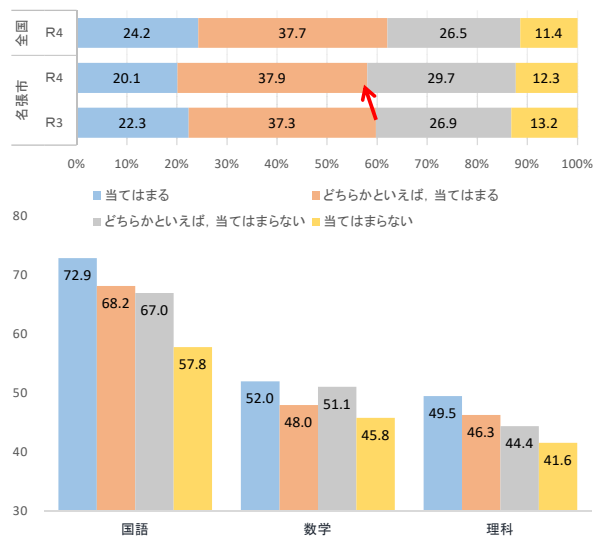
(1) 学校教育に関すること

①国語の勉強は好きですか。

小学校



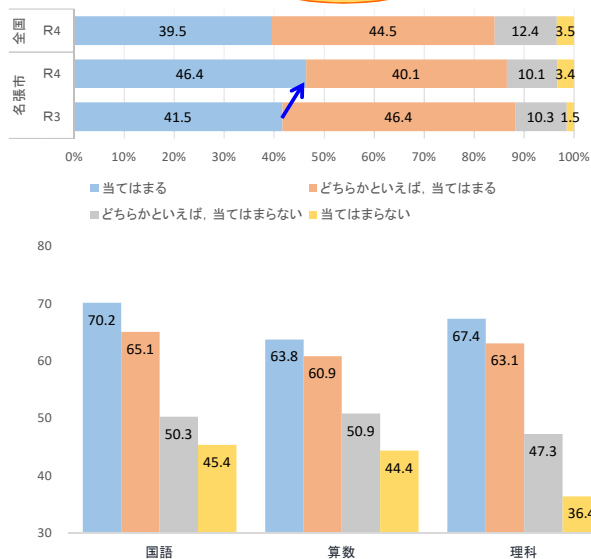
中学校



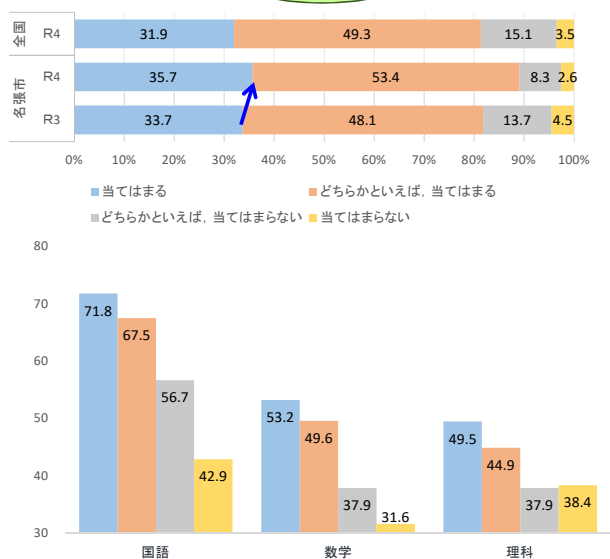
肯定的回答が、小・中学校ともに全国より低いですが、前回調査よりも小学校では高くなっています。

②国語の授業の内容はよく分かりますか。

小学校



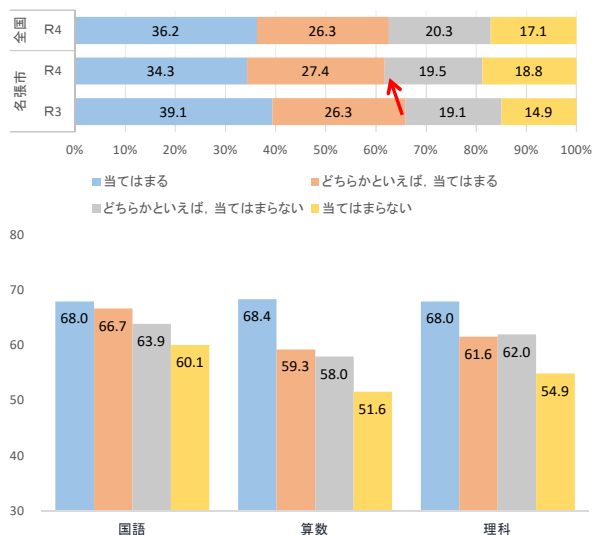
中学校



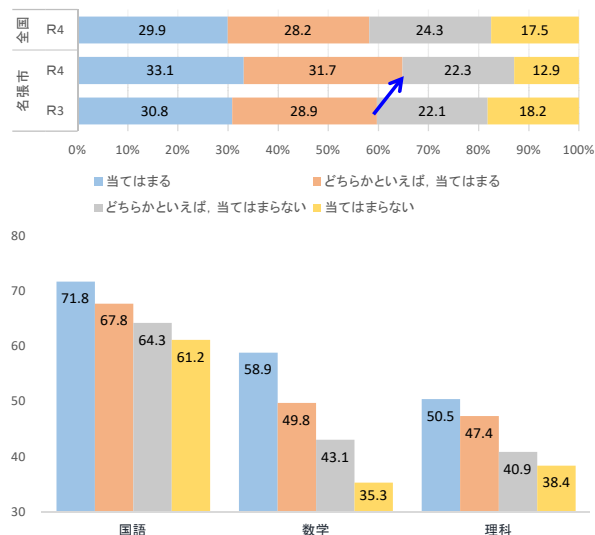
肯定的回答が、小・中学校ともに全国より高い、よい傾向が続いています。前回調査と比べると「当てはまる」との回答が小・中学校とも増加し、全国より高くなっています。

③算数・数学の勉強は好きですか。

小学校



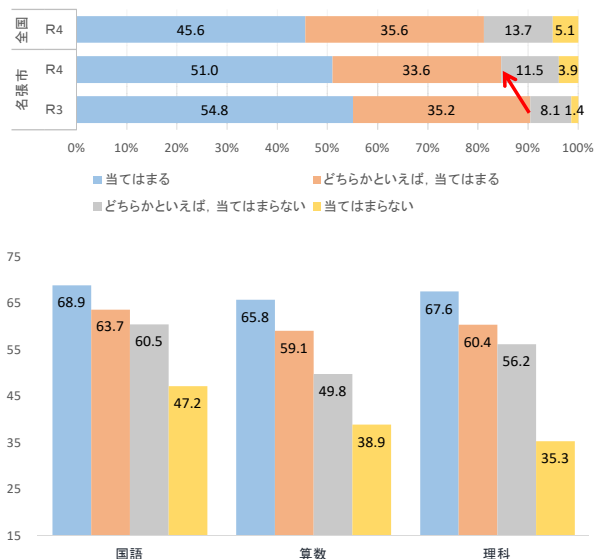
中学校



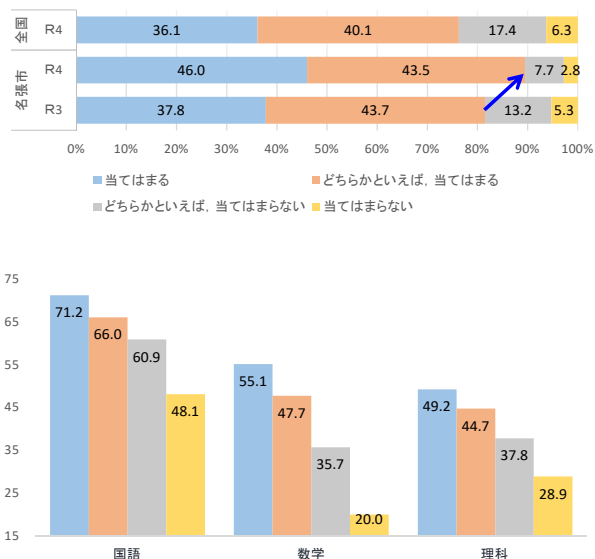
肯定的回答が、全国と比べると小学校では低く、中学校では高い結果がみられます。前回調査と比べると、小学校では減少しましたが、中学校では増加しています。

④算数・数学の授業の内容はよく分かりますか。

小学校

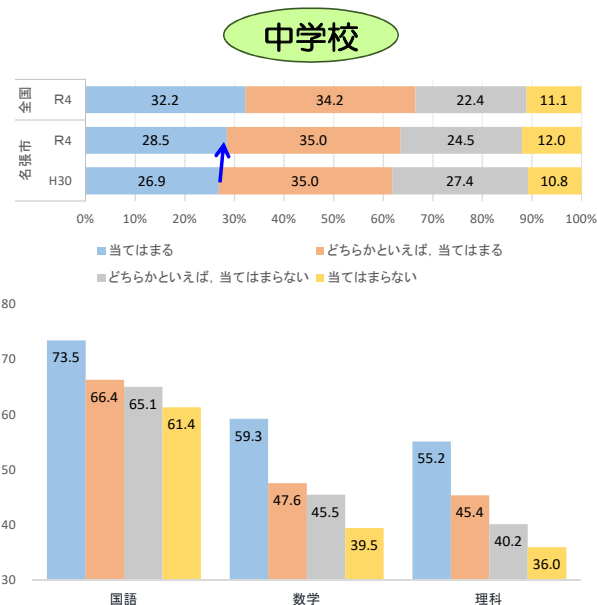
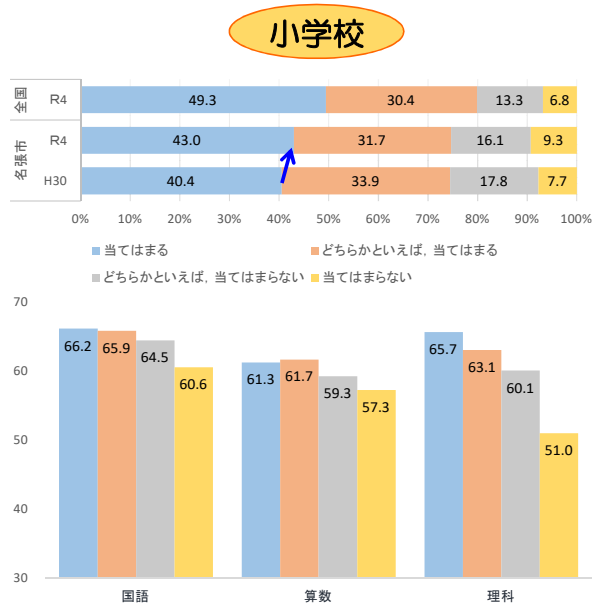


中学校



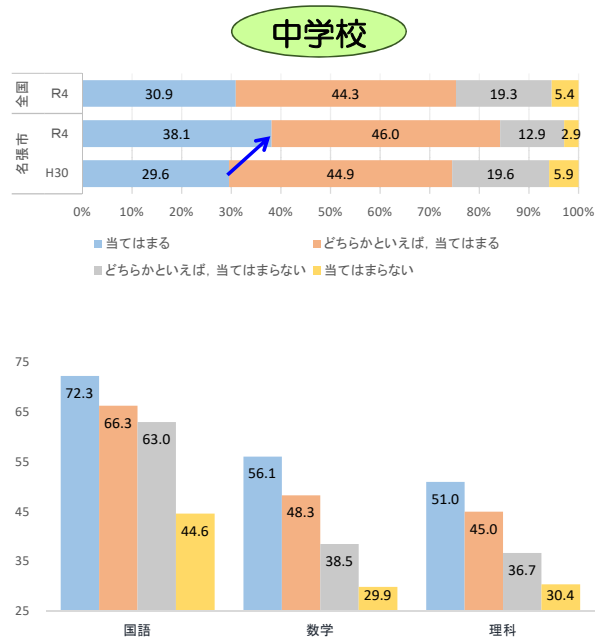
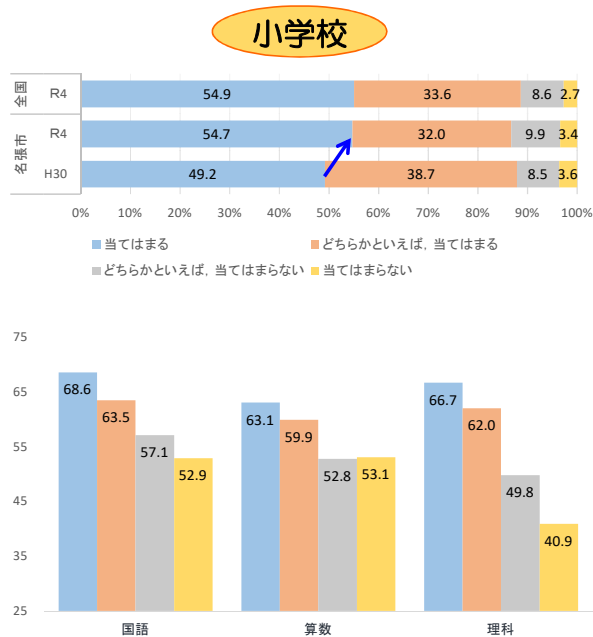
肯定的回答が、小・中学校ともに全国より高い、よい傾向が続いています。前回調査と比べると、小学校では減少し、中学校で増加しています。

⑤理科の勉強は好きですか。



👉 肯定的回答が、全国と比べると小・中学校とも低い結果がみられます。前回調査と比べると、「当てはまる」との回答が小・中学校とも増加しています。

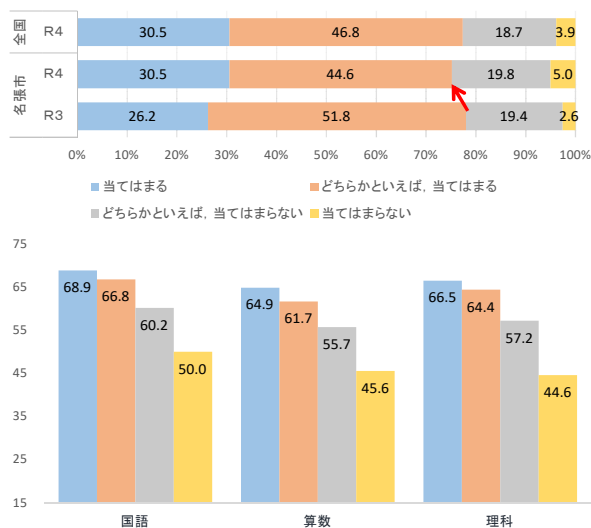
⑥理科の授業の内容はよく分かりますか。



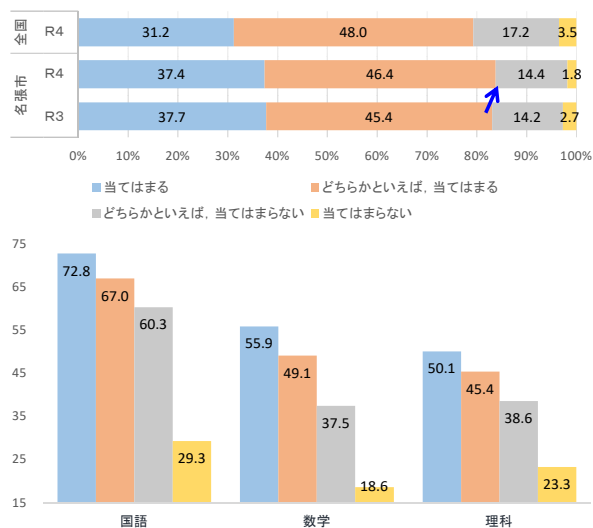
👉 肯定的回答が、全国と比べると小学校では低く、中学校では高い結果がみられます。前回調査と比べると、小・中学校とも「当てはまる」との回答が増加しています。

⑦ 5年生（中学1、2年生）までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。

小学校



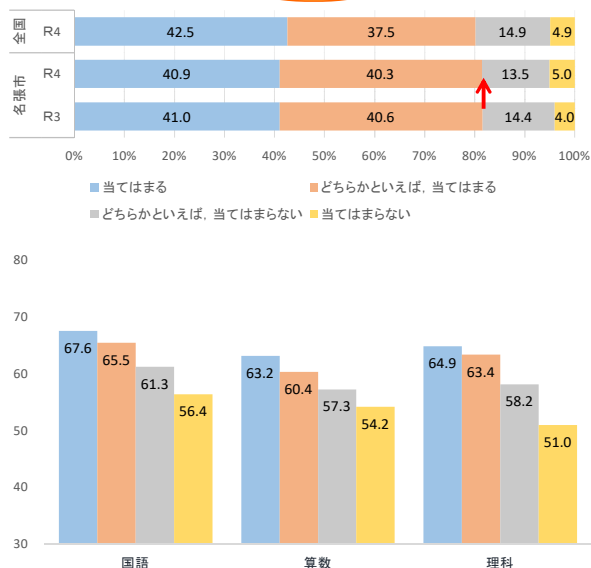
中学校



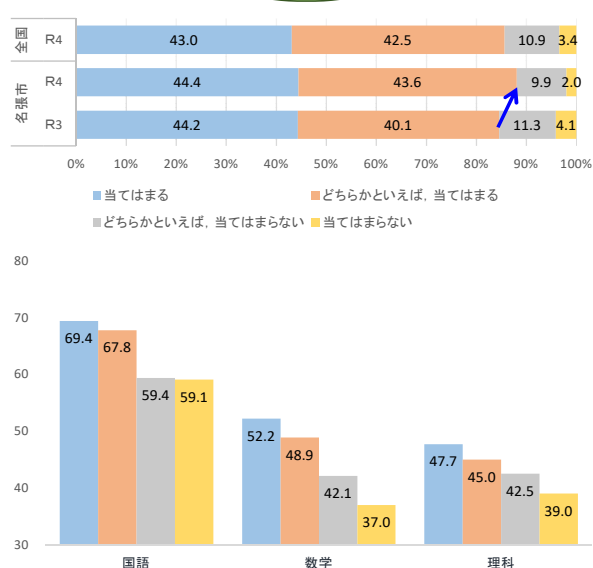
肯定的回答が全国と比べると小学校では低く、中学校では高い結果がみられます。前回調査と比べると小学校で減少し、中学校では増加しています。

⑧ 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思いますか。

小学校



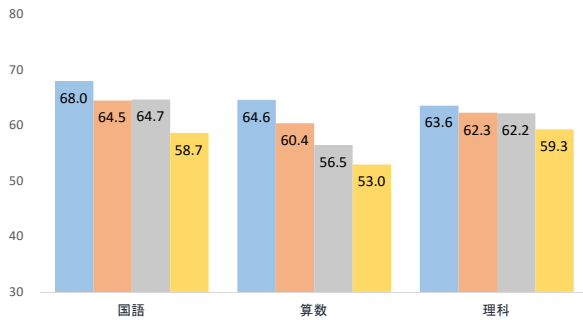
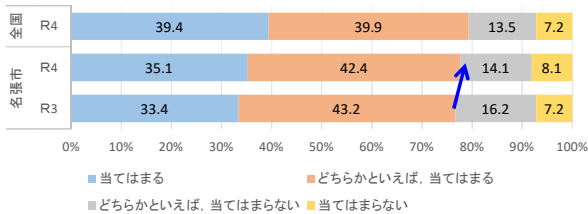
中学校



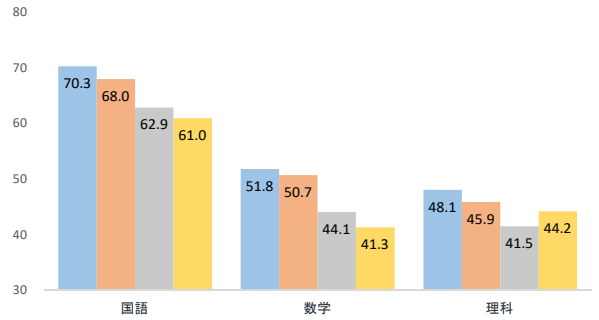
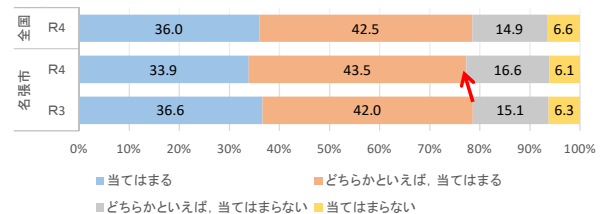
肯定的回答が、全国と比べると、小・中学校とも高い結果がみられます。前回調査と比べると、小学校で減少し、中学校で増加しています。

⑨自分には、よいところがあると思いますか。

小学校



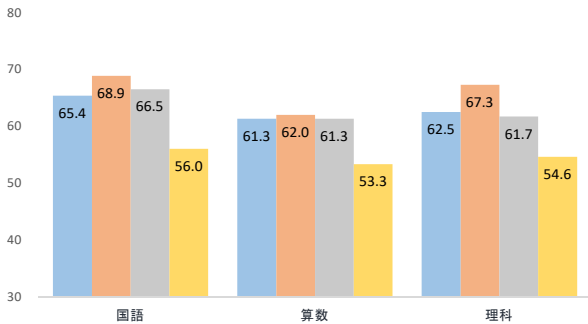
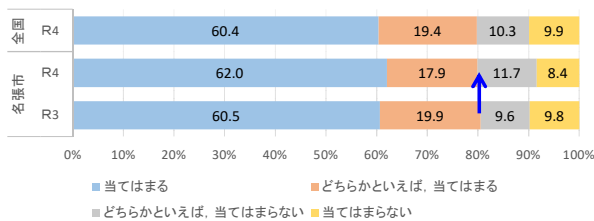
中学校



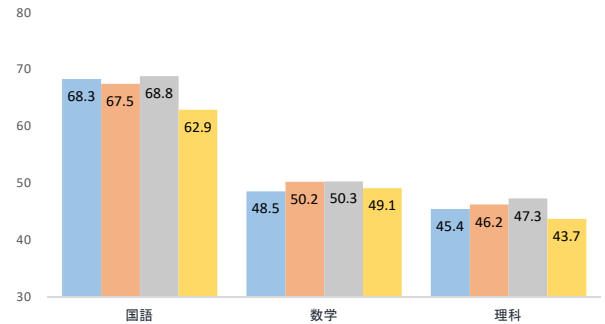
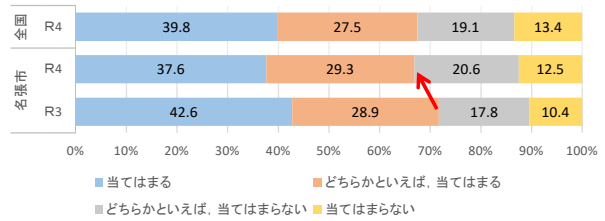
肯定的回答が全国と比べると、小・中学校で低い結果がみられます。前回調査と比べると、小学校で増加し、中学校で減少しています。

⑩将来の夢や目標を持っていますか。

小学校



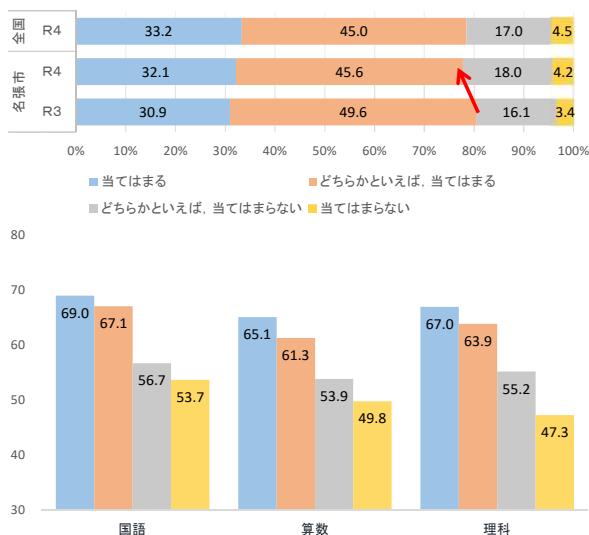
中学校



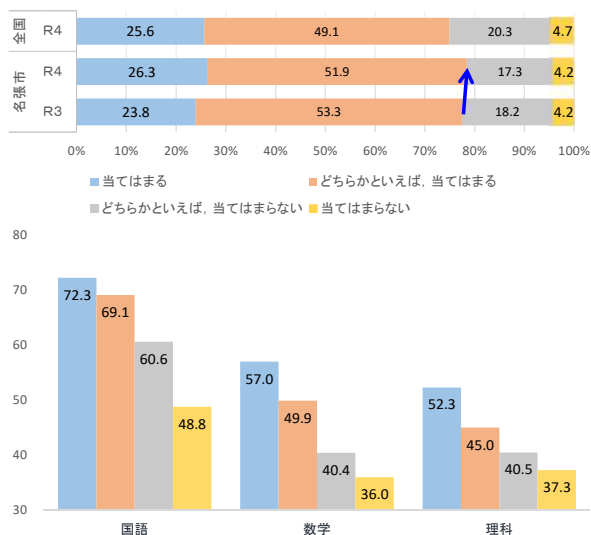
肯定的回答が全国と比べると、小学校で高く、中学校で低い結果がみられます。前回調査と比べると小学校で増加し、中学校で減少しています。

⑪学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

小学校



中学校



肯定的回答が全国と比べると、小学校で低く、中学校で高い結果がみられます。前回調査と比べると小学校で減少し、中学校で増加しています。

【学校教育に関する特徴的なこと】

- ・国語、算数・数学、理科に関しては、「勉強は好きですか。」の質問は、中学校数学で、肯定的な回答割合が全国平均と比べ高い。「授業の内容はよく分かりますか。」の質問に対しては、肯定的な回答割合が小学校理科で全国平均と比べ低い、小・中学校の国語、算数・数学と中学校理科で全国平均より高い。
- ・「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。」の質問に対して、中学校では、肯定的な回答割合が全国平均及び、前年度と比べ高い。
- ・道徳に関しては、「自分の考えを深めたり、話し合ったりする活動に取り組んでいるか。」の質問に対して、肯定的な回答割合が小・中学校とも全国平均と比べ高い。
- ・「自分にはよいところがある」の質問に対して肯定的な回答割合が、前回調査と比べ小学校で増加している。

各教科について、「好きですか」、「授業の内容はよく分かりますか」という質問に対する回答と、各調査項目の平均正答率との間には相関関係があります。しかし、本市の調査結果からは、「よく分かる」という回答が全国を上回っていても、平均正答率は全国より低い調査項目があります。学習内容の定着につながるよう授業改善を図り、学校全体、学校体制での指導方法の研究や学習内容の吟味等をすすめ、着実な学力向上を目指していく必要があります。

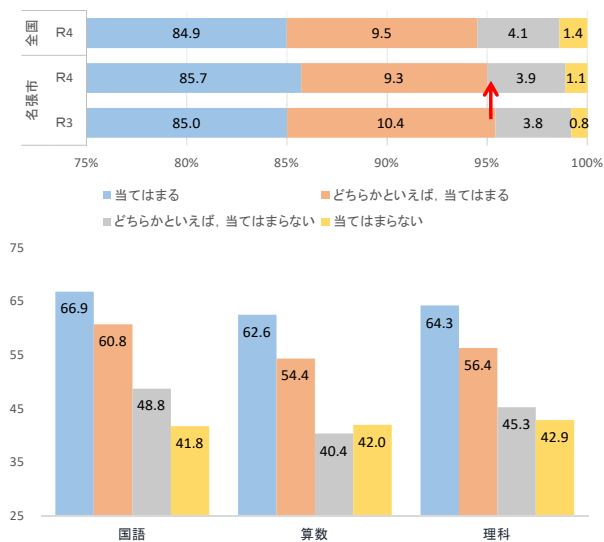
また、「自分には、よいところがあると思いますか」「将来の夢や目標を持っていますか」という質問に対し、中学校では、肯定的な回答割合は全国平均よりも低くなっています。学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら必要な資質・能力を身に付けていくことができるようキャリア教育等の充実を図る必要があります。

さらに、ICTを活用した指導方法等の工夫改善により、「個に応じた指導」の充実を図る必要があります。

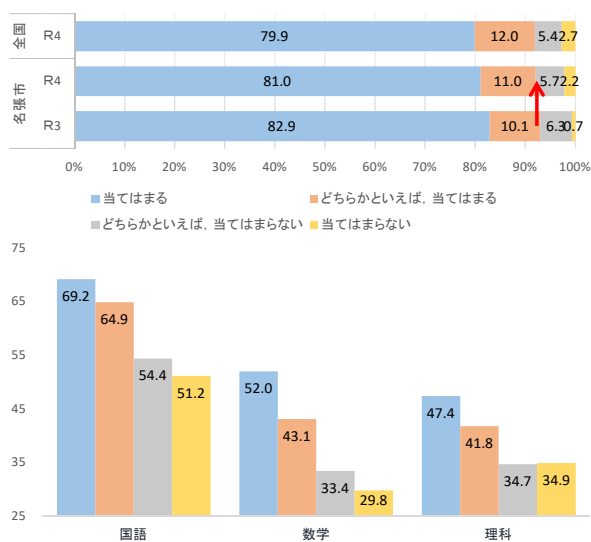
(2) 生活習慣に関すること

①朝食を毎日食べていますか。

小学校



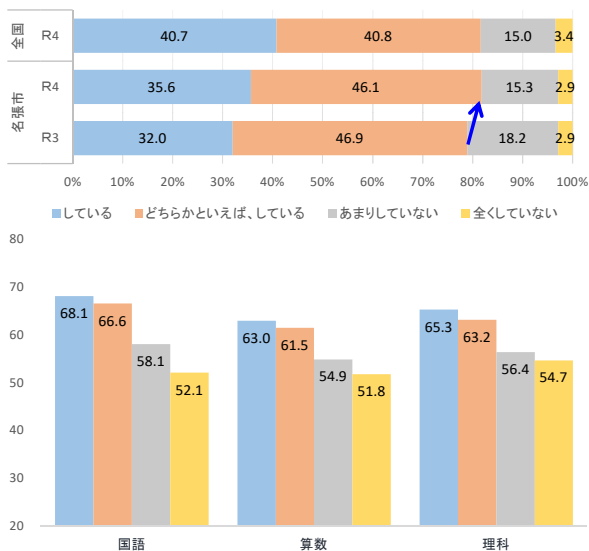
中学校



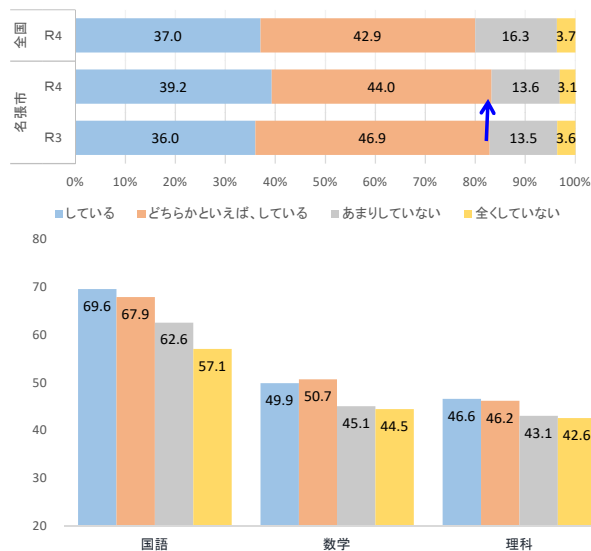
肯定的回答が、小・中学校とも全国より高くなっています。前回調査と比べると、小・中学校とも減少しています。

②毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。

小学校



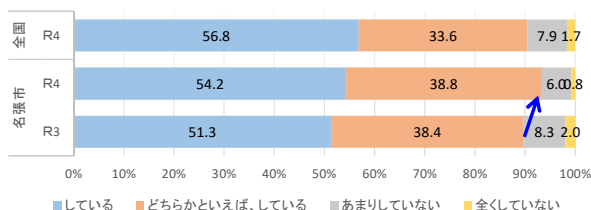
中学校



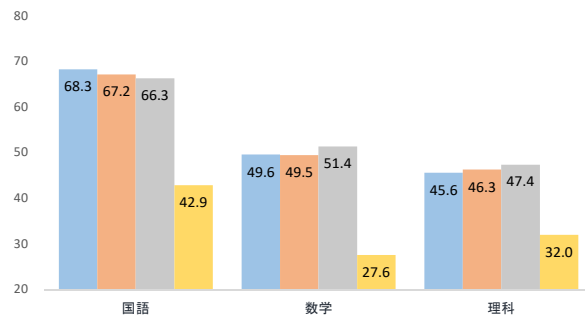
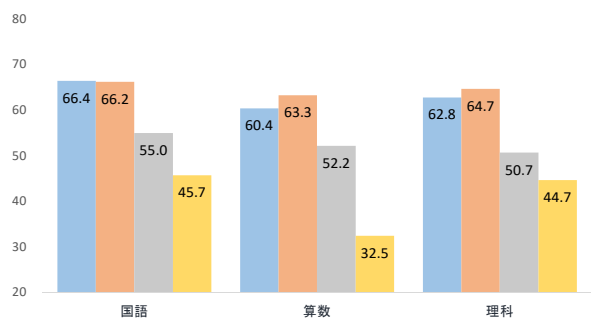
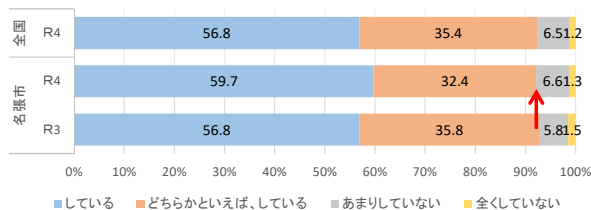
肯定的回答が、小・中学校とも全国より高くなっています。前回調査と比べると、小・中学校とも増加しています。

③毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。

小学校



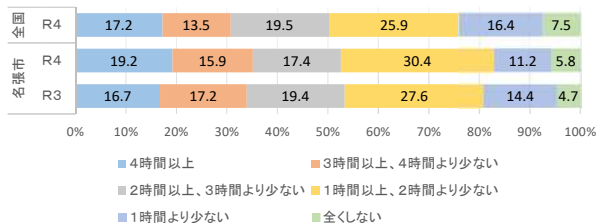
中学校



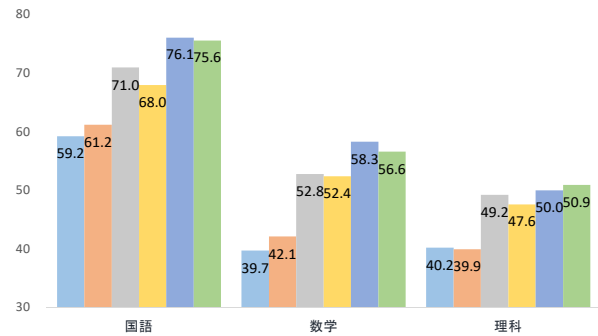
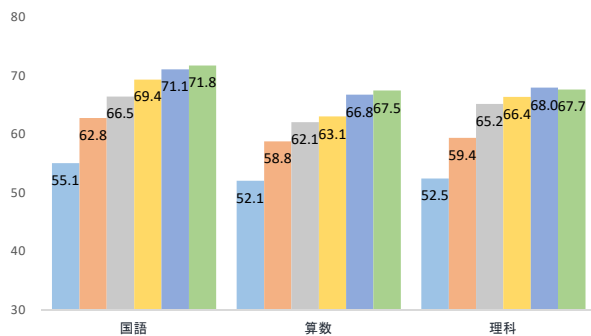
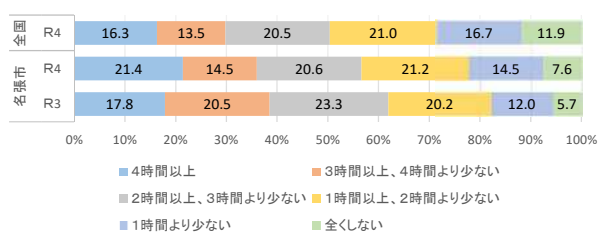
肯定的回答が、全国と比べると小学校では高く、中学校で低くなっています。前回調査と比べると、小学校で増加し、中学校ではやや減少しています。

④普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（携帯電話等を使ったゲームも含む）をしますか。

小学校



中学校



小・中学校とも、長時間ゲームをすると回答した割合が全国より高くなっています。

【生活習慣で特徴的なこと】

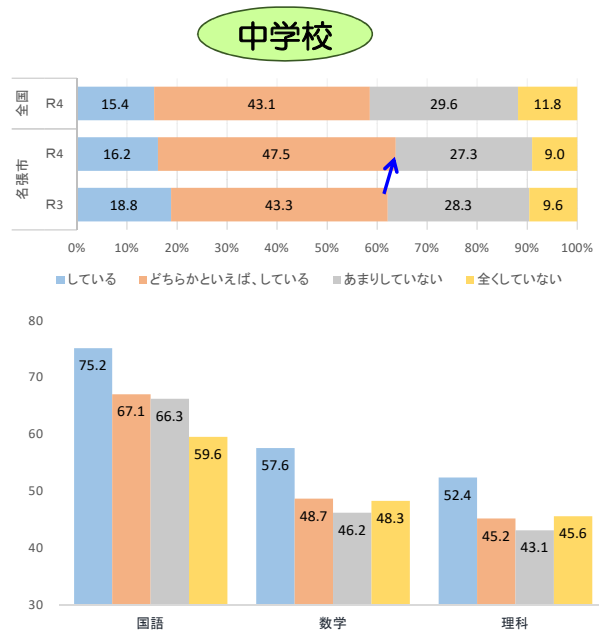
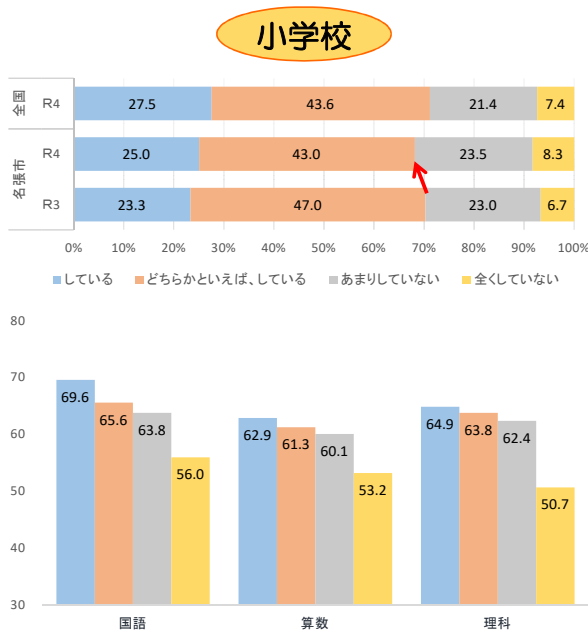
- ・「朝食を毎日食べていますか。」の質問に対して、肯定的な回答割合は、小・中学校ともに全国平均よりやや高い。
- ・「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。」という質問に対する肯定的な回答割合は、小・中学校とも前回調査より高い。
- ・「普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（携帯電話等を使ったゲームも含む）をしますか。」という質問に対して、長時間するとの回答が全国より高い。

☞ 上記のクロス集計から分かりますが、家庭での生活習慣と、学力には相関関係があります。④「普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（携帯電話等を使ったゲームも含む）をしますか。」のクロス集計をみても、ゲームを「4時間以上する」と回答した児童生徒と、「全くしない」と回答した児童生徒との各教科の平均正答率を比較すると小・中学校ともおよそ10ポイント以上の差がみられます。

児童生徒の健やかな成長のためには、適切な運動、調和のとれた食事、十分な休養・睡眠が大切です。こうした生活習慣を身に付けていくためには家庭の果たすべき役割は大きいところです。学校と家庭がこれまで以上に連携を強化し、生活習慣の確立や生活リズムの向上を学習意欲の向上につなげる必要があります。

（３）学習習慣等に関すること

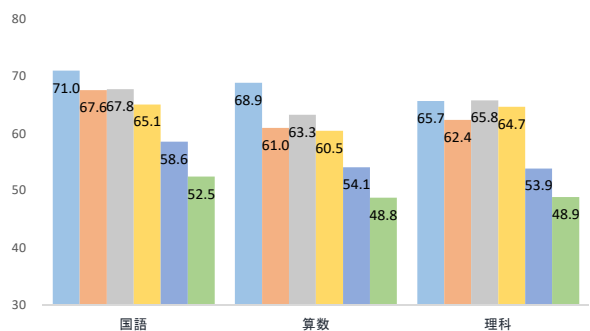
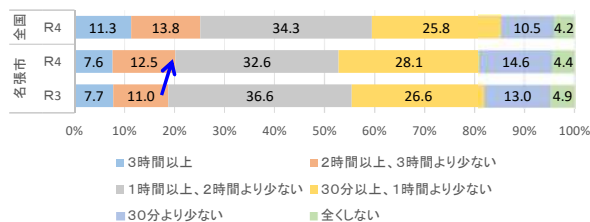
①家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。



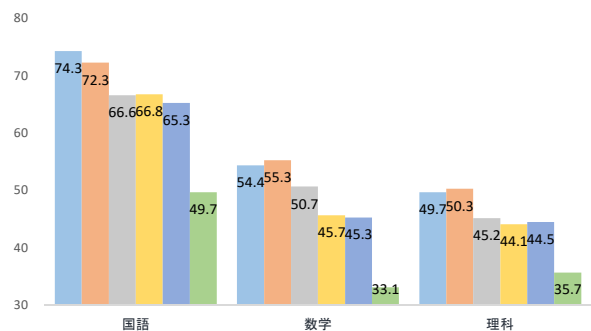
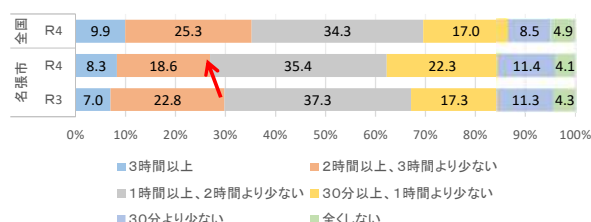
☞ 肯定的回答が、全国と比べると小学校で低く、中学校で高くなっています。前回調査と比べると、小学校で減少し、中学校で増加しています。

②学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）

小学校



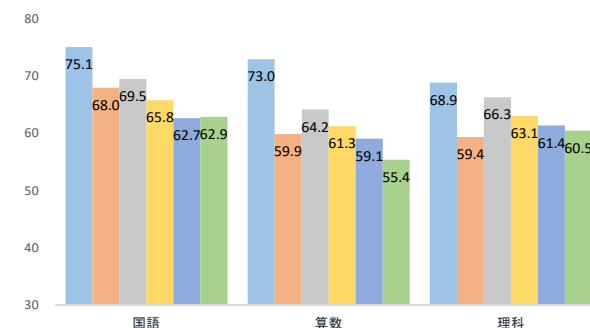
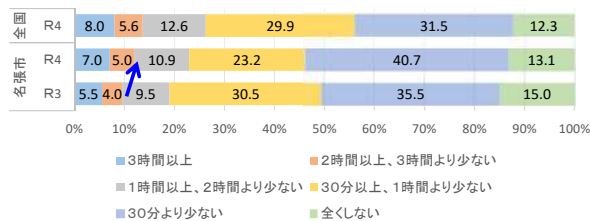
中学校



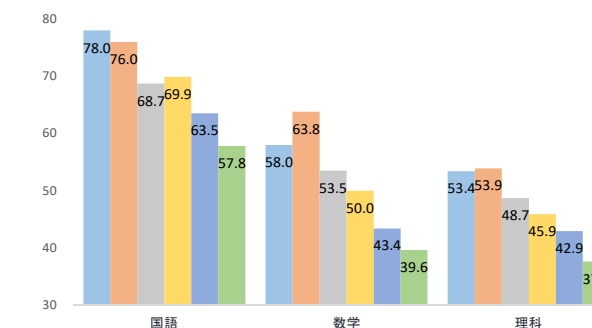
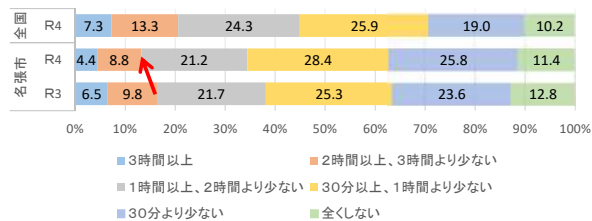
全国より低い傾向が続いています。前回調査と比べると、学習時間が（2時間以上）と回答した児童生徒の割合が、小学校で増加し、中学校で減少しています。

③土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

小学校



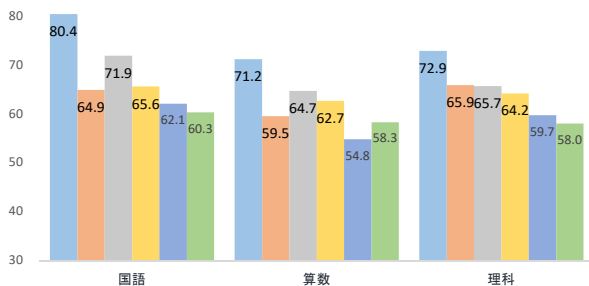
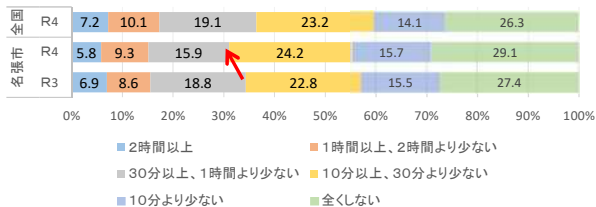
中学校



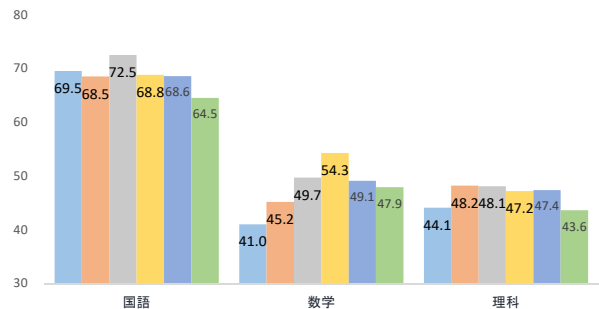
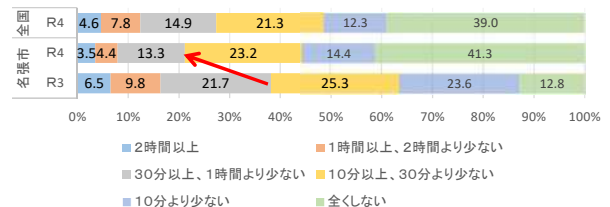
全国より低い傾向が続いています。前回調査と比べると、学習時間が（2時間以上）と回答した児童生徒の割合が、小学校で増加し、中学校で減少しています。

④学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしめますか。（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）

小学校



中学校



👉 全国より低い傾向が続いています。前回調査と比べると、読書時間が（30分以上）と回答した児童生徒の割合が、小・中学校とも減少しています。

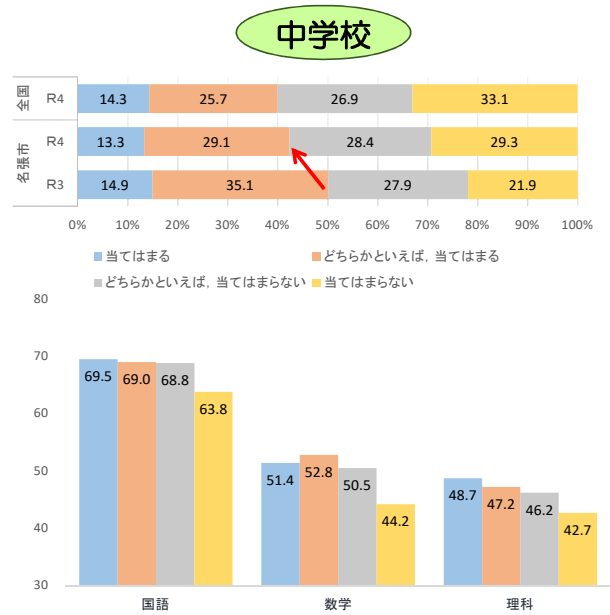
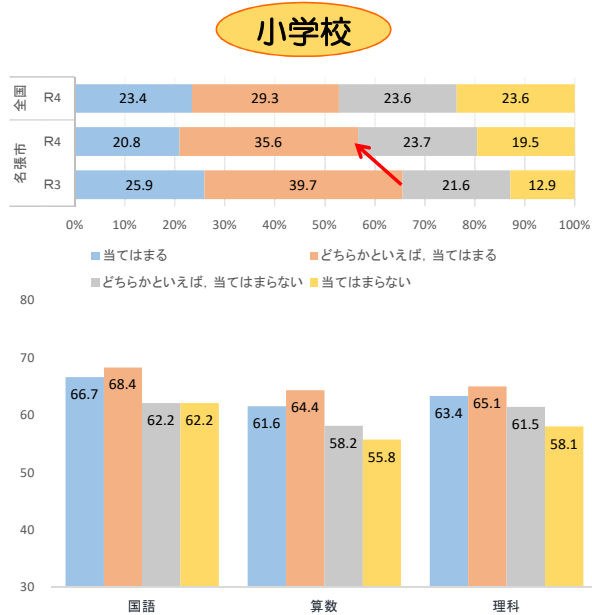
【学習習慣等について特徴的なこと】

- ・「自分で計画を立てて勉強をしていますか。」という質問に対する肯定的な回答が、中学校では全国平均より高く、前回調査より増加している。
- ・平日の家庭学習の時間について、全国と比べると、「2時間以上」学習をする割合は小学校では前回調査より増加し、中学校では減少している。
- ・読書する時間について、全国と比べると「30分以上」する割合は小・中学校とも低くなっている。読書を全くしないと回答した割合は増加している。

👉 本市の児童生徒の家庭における学習時間が、平日や休日とも全国平均に比べて短いという結果がみられます。また、読書の時間も全国平均より総じて短いという結果です。今後、ICT等も活用し、宿題や自主学習等のあり方や内容について見直し、家庭での学習習慣・読書習慣の定着に向けて、家庭と連携して取り組んでいく必要があります。

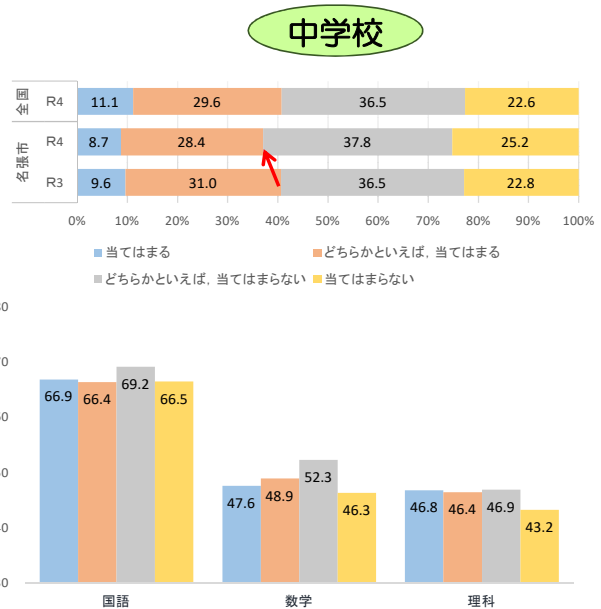
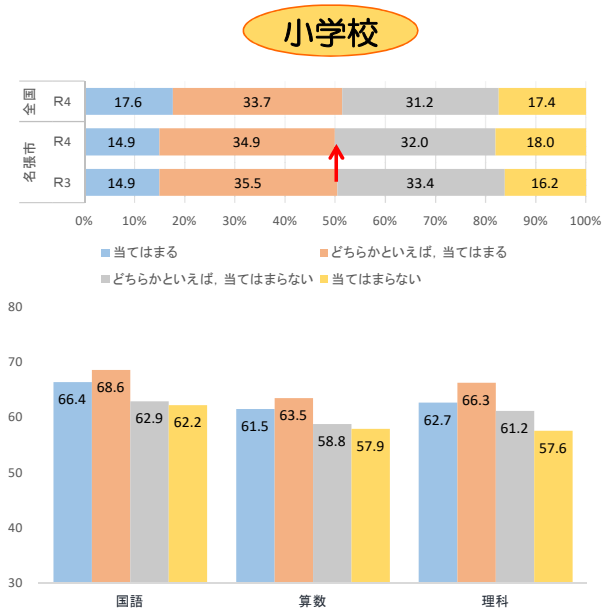
(4) 地域貢献・社会貢献に関すること

①今住んでいる地域の行事に参加していますか。



肯定的回答が、小・中学校ともに全国より高くなっています。前回調査と比べると小・中学校とも減少しています。

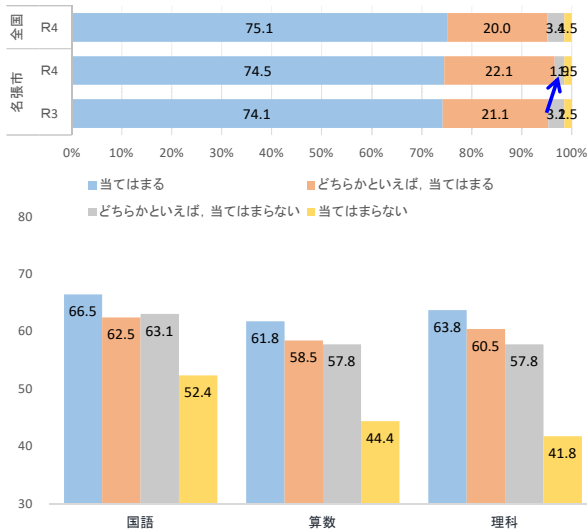
②地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか。



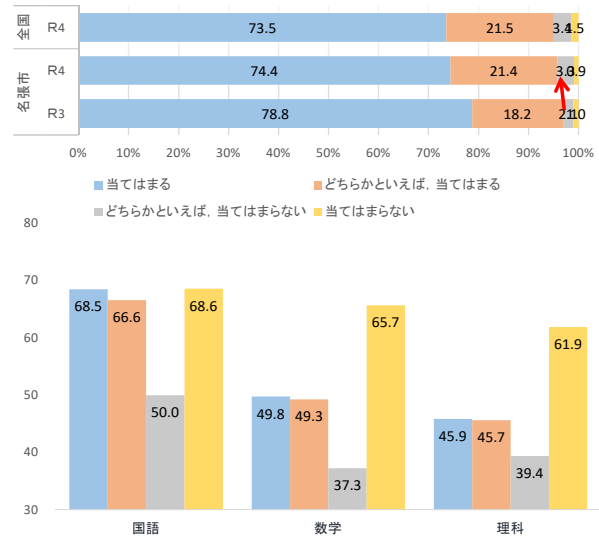
肯定的回答が、小・中学校とも全国より低くなっています。前回調査と比べると小・中学校とも減少しています。

③人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

小学校



中学校



肯定的回答が、小・中学校とも全国より高い結果がみられます。前回調査と比べると、小学校は増加し、中学校では減少しています。

【地域貢献・社会貢献について特徴的なこと】

- ・「今住んでいる地域の行事に参加していますか。」という質問に対する肯定的な回答割合は、小・中学校とも全国より低い。
- ・「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか。」という質問に対する肯定的な回答をしている児童生徒の割合は、前回調査と比べると小・中学校とも減少している。
- ・「人の役に立つ人間になりたい」と肯定的な回答をしている児童生徒の割合は、小・中学校とも全国より高い。

地域の行事への参加について、肯定的な回答が小・中学校ともに全国平均を下回る結果でした。また、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考える」子どもが前回調査より減少していることから、ふるさと学習「なばり学」等により、自分の住んでいるふるさとへの興味・関心が高めていく必要があります。

また、本市の子どもたちの貢献心は小・中学校ともに95パーセントを超え、よい傾向が続いています。

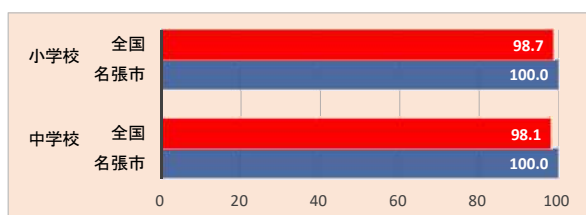
4 学校質問紙調査結果の特徴的な傾向と分析

「学校質問紙調査」とは、学校における指導方法に関する取組や、学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査です。

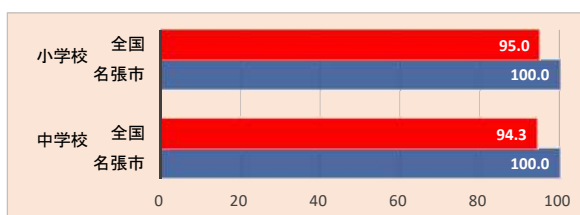
ここでは、「学校質問紙調査」のうち、特徴的な資料をいくつか示し、その傾向と分析を記載しています。

※質問項目の後に（ ）のない場合、グラフの数値は、学校が「よく行った」「どちらかといえば行った」と回答した割合（％）

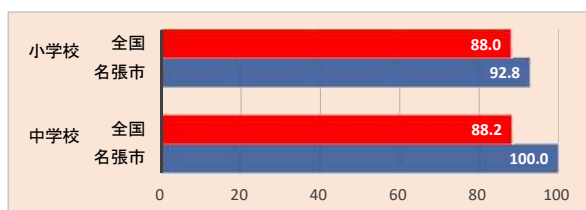
①調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童（生徒）一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する（褒めるなど）取組を行いましたか



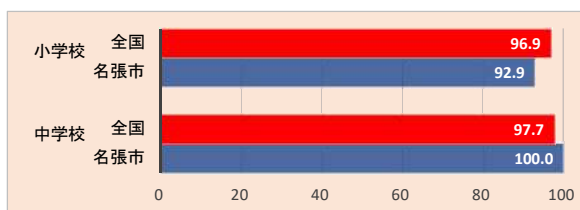
②ＩＣＴを活用した校務の効率化（事務の軽減）に取り組んでいますか



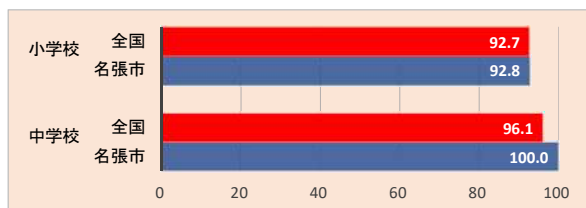
③調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか



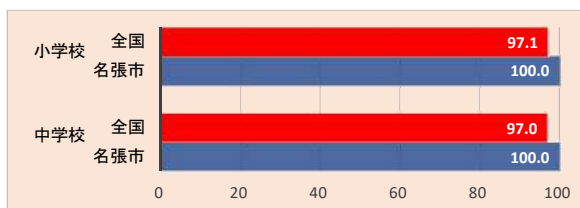
④調査対象学年の児童（生徒）に対して、特別の教科 道徳において、児童（生徒）自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか



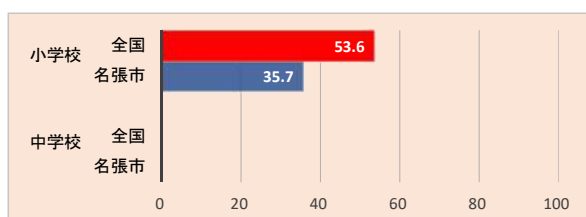
⑤調査対象学年の児童（生徒）に対する国語の指導として、前年度までに、目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係を明確にして書いたり、書き表し方を工夫したりする授業を行いましたか



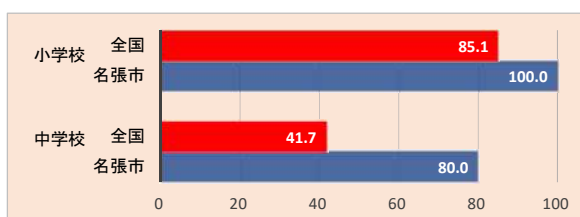
⑥調査対象学年の児童（生徒）に対する算数（数学）の指導として、前年度までに、公式やきまり、計算の仕方等を指導するとき、児童（生徒）がそのわけを理解できるように工夫していましたか



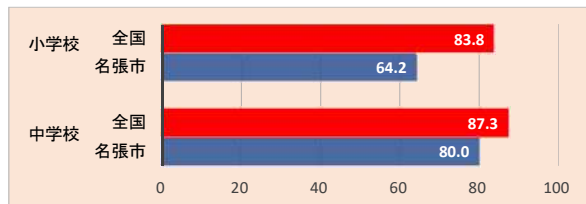
⑦調査対象学年の児童に対する理科の授業において、前年度に、教科担任制を実施していましたか（小学校のみ）



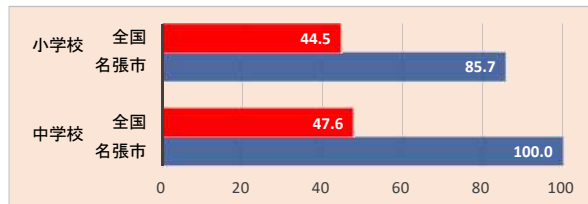
⑧調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、一人一人に配備されたＰＣ・タブレットなどのＩＣＴ機器を、授業でどの程度活用しましたか（週3回以上）



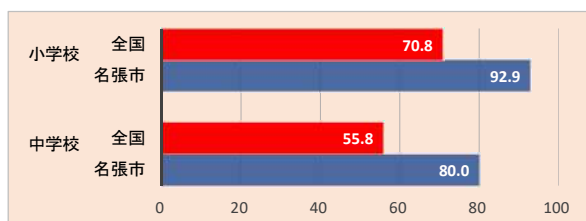
⑨調査対象学年の児童（生徒）は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか



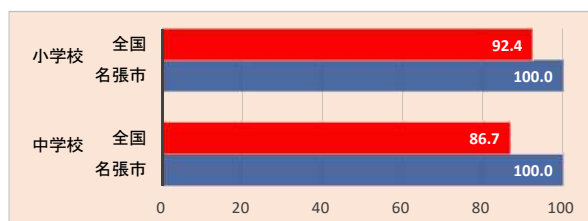
⑩令和3年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の小学校（中学校）と成果や課題を共有しましたか



⑪地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営等、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか



⑫調査対象学年の児童（生徒）の保護者に対して、前年度までに、児童（生徒）の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか



※質問項目の後に（ ）のない場合、グラフの数値は、学校が「よく行った」「どちらかといえば行った」と回答した割合（％）

【学校質問紙調査について特徴的なこと】

- ・教育活動全体を通じて、児童生徒一人ひとりのよい点や可能性を見つけ評価する取組が行われている。
- ・国語では、「目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係を明確にして書いたり、書き表し方を工夫したりする授業を行いましたか」の質問で、本市は、全国に比べ高い数値を示しているが、教科の調査の該当の設問においては、正答率が低い結果となっており、定着に向けた学習指導が必要である。
- ・算数・数学では、「公式やきまり、計算の仕方等を指導するとき、児童（生徒）がそのわけを理解できるように工夫していましたか」は、本市では小中学校とも100パーセントである。児童生徒質問紙にも「公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしているか」についての質問があり、小学校で87.1パーセント、中学校で82.9パーセントが肯定的な回答をしており、全国を上回っている。
- ・教科担任制については、全国との差が見られる。本市でも効果が見られた学校もあることから、小学校高学年での教科担任制の段階的導入を進めていく必要がある。
- ・ＩＣＴ機器を、授業でどの程度活用できているかについては、小学校で100パーセント、中学校で80パーセントであり、全国平均を上回っている。今後は、ＩＣＴ機器等を効果的に活用した授業改善を進めていく必要がある。
- ・「学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか」では、小中学校ともに全国を下回っており、日常的な言語活動の充実を図っていく必要がある。
- ・すべての中学校区において小中一貫教育が実施されていることもあり、近隣の小学校（中学校）と教育目標を共有する取組や本調査の分析結果（成果や課題）の共有等については、全国より大幅に進んでいる。
- ・コミュニティ・スクールなどの仕組みを生かした保護者や地域の人々との協働による活動は、全国平均を上回り、高い数値を示している。各学校において、学校運営協議会が核となり、学校・保護者・地域住民が、地域の子どもの学びと育ちに関わる当事者として、「学校運営」「学校支援」等において、さらに連携・協働し、取組を充実させていく必要がある。
- ・家庭学習の働きかけについては、小中学校とも100パーセントであり、全国を上回っている。しかし、実際の家庭学習の時間では、小中学校とも全国を下回っている。実効性のある取組となるよう、分析・検証し、改善を図る必要がある。

5 成果、課題と今後の取組について

名張市教育委員会では、令和3年度から「第二次名張市子ども教育ビジョン後期計画（令和3年3月策定）に基づき、「夢をはぐくみ 心豊かで 元気な 『ばりっ子』」をめざす子ども像に、さまざまな取組を進めているところです。

子どもたちの確かな学力の育成をめざし、子どもの心理的・身体的な発達段階に応じたきめ細やかな指導・支援を行うことにより、基礎的・基本的な「知識及び技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力・人間性等」の資質・能力を育む取組を行っています。

全国学力・学習状況調査は、「義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する」ことを目的としています。

本教育委員会や各学校では、本調査結果から子どもたちの学力や学習状況を把握・分析、検証し、児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に取り組み、子どもたちにとってわかる授業づくりを進めることにより、子どもたちの学習意欲と学力の向上をめざすとともに、子どもたちの生きる力を育て、中学卒業時には十分な学力を培うことをめざしています。

これまでの本市の小中学校の取組の結果、本年度の調査で以下のような成果が現われています。

- 国語について、小学校では、「漢字や仮名の大きさ、配置に注意して書くこと。」などの「我が国の言語文化に関する事項」の領域における正答率が全国平均より高くなりました。
中学校では、「相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。」などの「話すこと・聞くこと」の領域における正答率が全国よりやや低くなりましたが、三重県平均より高くなりました。
算数・数学について、小学校では「乗法の計算」、中学校では「連立二元一次方程式」などの「数と計算」の領域において、正答率が全国平均に迫る結果となりました。
理科について、小学校では「生命」を柱とする領域において、三重県平均より高く、全国平均に迫る結果となりました。
- 児童生徒質問紙調査において、「授業の内容はよく分かりますか」という質問に対し肯定的な回答を行った児童生徒の割合は、全国平均と比べると小学校の理科でやや下回りましたが、他の教科は小中学校とも全国平均を上回りました。授業改善により児童生徒の学習意欲の向上が進んでいる成果といえます。また、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う」の質問については、小中学校とも経年的に全国より高い傾向がみられ、前回調査より上昇しており、児童生徒と教職員の良好な関係性が伺えます。さらに、ICTの活用についても、全校より大幅に活用状況が高い結果が見られ、強みといえます。

しかし、同時に以下のような課題もあります。

- 国語において、小学校では、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けるなど「書くこと」の領域、中学校でも、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことなどの「書くこと」の領域について正答率が低く、弱みが見られます。
小学校算数では、数量が変わっても割合は変わらないことなどの「変化と関係」の領域、中学校でも、筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することなどの「図形」の領域に弱みが見られます。

- 小学校理科では、日光は直進することなどの「エネルギーを柱とする領域」、中学校理科でも、力の働きに関する知識及び技能を活用して、物体に働く重力とつり合う力を矢印で表し、その力を説明できるかななどの「エネルギーを柱とする領域」に弱みが見られます。
- 家庭生活では、学習時間が短く、読書習慣も定着していない現状が本年度も見られます。自ら意欲的に家庭学習に取り組もうとする態度にまで高め、自律的学習へと結びつけるための工夫や手立てが求められます。

このような課題克服のため、「第二次名張市子ども教育ビジョン後期計画」の方針に基づき、さらなる学力の向上に向けた以下の取組をすすめます。

＜教職員の指導力の向上とたゆまぬ授業改善＞

学習指導要領をふまえ、習得・活用・探究という学びの過程全体を見渡しなが、子どもたちの資質・能力を育成するため、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を図るとともに、これまでに引き続き、学力向上に向けた効果的な指導方法を全教職員で共有し、『魅力ある学校づくり』をベースにして、『学力向上3本の矢』（めあての明示と振り返りのある授業、言語活動の充実、充実した家庭学習）や『ユニバーサルデザイン』の視点を意識するなど、わかる授業づくりのための授業改善を進めていきます。

また、学習の習熟の程度に応じた学習や補充的な学習、発展的な学習、ICT機器を活用した学習などの学習方法を取り入れることによる、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図ります。

さらに、教育委員会の指導主事が学校を訪問し、学力向上にむけた各学校の今後の取組の聞き取りや授業参観等を実施し、具体的な指導・助言をするなどの学校支援を行います。また、本調査結果でみられた課題の解決や授業改善を目指した研修を実施し、教職員の資質や指導力の向上を図ります。

＜PDCAサイクルの確立＞

全国学力・学習状況調査の結果について、該当学年・教科担当者だけでなく、全校体制での自校採点、分析によって自校の強みと弱みの把握に努めるとともに、弱みを克服するための学習指導・学習支援を早い段階から積極的にを行います。

すべての学校、学年、学級、教科の担当者が、すべての子どもたちにその学年で身につけるべき学習内容の確実な定着を図り、進級・進学させるために、全国学力・学習状況調査やみえスタディ・チェックを活用して年度内に自校の取組を検証し、次なる授業改善に生かします。また、学習内容の理解と定着の確認を大切にし、学校体制での系統的・継続的な取組、教職員の意欲的かつ主体的な取組を推進していきます。

＜小中一貫教育の推進＞

「名張市子ども教育ビジョン（後期計画）」では、「小中一貫教育の推進」を重点取組の一つとしており、グランドデザイン及び推進カリキュラムに基づき、義務教育9年間の系統性・連続性を確保した学習指導の充実を図ることで、学力向上をめざすこととしています。すべての教職員が9年間の学習等について具体的なイメージをもち、当該学年における指導の充実や指導方法の改善を図るとともに、校内はもちろん、校種の枠を越えた指導・教育を行うことにより、子どもたちの学びと育ちを保障し、「知識及び技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力・人間性等」の資質・能力を育てていきます。

＜コミュニティ・スクールの推進＞

家庭学習の定着、読書の習慣化の取組はもとより、食生活の改善、地域貢献の場の設定等、学校、家庭、地域がともに知恵を出し合い、子どもたちの生活習慣改善や学力の向上等、豊かな成長を支えていくための大きな推進力となるよう、一体となって取組を進めていきます。また、地域づくり組織等において進める、地域学校協働活動（子どもたちの学びと成長を支える活動や子どもたちが地域貢献できる活動等）とも連携・協働し、自己有用感等の学びの土台となる資質・能力を培っていきます。